

令和 3 年度
武道等指導充実・資質向上支援事業
実践事例報告集

令和 5 年 1 2 月
スポーツ庁政策課企画調整室

本実践事例報告集の活用について

本実践事例報告集は、「令和3年度武道等指導充実・資質向上支援事業」において、委託先の各教育委員会が取り組んだ複数種目の武道指導の実践事例の一部を、スポーツ庁でとりまとめたものです。わが国固有の伝統と文化により一層触れることができるようにするよう、地域の指導者の協力を得て、複数種目の武道指導等の多様な武道指導に取り組もうとしている学校での活用を期待します。

目次

<複数種目の武道指導として【空手道】に取り組んだ実践>

- ◇【空手道・剣道】生徒の安全・安心を保障しながら「必要感」を持ち授業に臨む武道授業の実践例～生徒にとって必要感のある「学習課題」とコロナ禍における安心・安全を保障した授業の展開～
東根市立大富中学校（山形県）・・・・・・・・・・ 1
- ◇【空手道・柔道】外部講師と教師とでつくりあげる、ICT機器を活用した武道の学習実践例
伊勢崎市立殖蓮中学校（群馬県）・・・・・・・・・・ 3
- ◇【空手道・柔道】武道に親しむ機会を設け、生涯スポーツへの意識を高める 等
佐渡市立真野中学校（新潟県）・・・・・・・・・・ 5
- ◇【剣道・空手道】種目の特性や自己の適正に応じて、武道への興味関心を広げていくことを目指す 等
美祢市立於福中学校（山口県）・・・・・・・・・・ 7
- ◇【相撲・空手道】外部指導者と体育担当教員が連携した相撲授業及びICTを活用した空手道の授業展開
徳島市立川内中学校（徳島県）・・・・・・・・・・ 9
- ◇【相撲・空手道】相撲と空手道を通して、武道固有の礼法や基本動作を学習することにより、日本伝統文化の理解と安全で楽しい武道の授業展開
阿南市立新野中学校（徳島県）・・・・・・・・・・ 11
- ◇【柔道・空手道】地域指導者との連携により、武道の伝統的な考え方を深め、学習意欲を高める実践例
鹿屋市立吾平中学校（鹿児島県）・・・・・・・・・・ 13

<複数種目の武道指導として【なぎなた】に取り組んだ実践>

- ◇【剣道・なぎなた】剣道となぎなたの基本動作の共通点を意識しながら、基本的な対人技能を習得する授業の展開
釜石市立大平中学校（岩手県）・・・・・・・・・・ 15
- ◇【なぎなた・相撲】地域スポーツ指導者の専門的な指導により、生徒の意欲や関心が高まる授業の計画 等

- 萩市立田万川中学校（山口県）・・・・・・・・・・ 1 7
- ◇【剣道・なぎなた】礼法・作法を大切に、相手とともに学ぶ、剣道となぎなたのつながりを意識した授業の展開
- 松茂町立松茂中学校（徳島県）・・・・・・・・・・ 1 9
- ◇【柔道・なぎなた】武道の伝統的な考え方や基本動作を柔道となぎなたを通じて学ぶ授業展開
- 伊予市立港南中学校（愛媛県）・・・・・・・・・・ 2 1
- ◇【なぎなた・剣道】複数の種目から武道の関心・意欲を高める体育教員と外部指導者が連携した授業実践
- 日之影町立日之影中学校（宮崎県）・・・・・・・・ 2 3
- ◇【相撲・なぎなた】武道へ対する意欲を高め、武道に積極的に取り組む授業の展開
- 西都市立穂北中学校（宮崎県）・・・・・・・・・・ 2 5
- ◇【柔道・なぎなた】安全で楽しい柔道・なぎなたの実践を通して、武道に対する興味・関心を高める授業の展開
- 南九州市立川辺中学校（鹿児島県）・・・・・・・・ 2 7

<複数種目の武道指導で【弓道】に取り組んだ実践>

- ◇【弓道・柔道】1人1台端末の効果的な活用により、武道に対する興味・関心を高め、指導事項に係る知識及び技能の習得を図る 等
- 稚内市立潮見が丘中学校（北海道）・・・・・・・・ 2 9
- ◇【柔道・弓道】複数の武道の経験を通して、礼節や他社の思いやる心の育成を図るとともに、日常生活における他者とのかわり生かせるようにする 等
- 稚内市立稚内南中学校（北海道）・・・・・・・・ 3 1
- ◇【柔道・弓道】外部講師や地域施設を活用して「できる」「楽しい」を実感できる武道の実践例
- 板倉町立板倉中学校（群馬県）・・・・・・・・・・ 3 3
- ◇【柔道・弓道】武道に共通した精神や礼法を理解するとともに武道を楽しむ態度を養う授業の展開
- 三好市立池田中学校（徳島県）・・・・・・・・・・ 3 5

<複数種目の武道指導で【合気道】に取り組んだ実践>

- ◇【合気道・剣道】合気道・剣道に親しみ、基本動作や基本の技を身につけ、相手を尊重する態度を育む
- 最上町立最上中学校（山形県）・・・・・・・・・・ 3 7
- ◇【合気道・剣道】深く武道の特性に触れるとともに、習熟度に応じて練習方法を選択したり、技能の細かなポイントを伝達したりするなど、技の完成度を高める 等
- 笠間市立友部中学校（茨城県）・・・・・・・・・・ 3 9
- ◇【柔道・合気道】柔道から合気道につなげることで、段階的に技能を習得し、安全に武道の特性を学ぶ授業の展開
- 高島市立湖西中学校（滋賀県）・・・・・・・・・・ 4 1

- ◇【合気道・剣道】取り・受けの約束で行う合気道から剣道につなげることで、攻防について段階的に学ぶ授業の展開

延岡市立南浦中学校（宮崎県）・・・・・・・・・・ 4 3

<複数種目の武道指導で【少林寺拳法】に取り組んだ実践>

- 【少林寺拳法・柔道】二人組で行う演武練習で守者・攻者の息を合わせることから、柔道の取り・受けに繋げる授業展開

小松市立板津中学校（石川県）・・・・・・・・・・ 4 5

- ◇【剣道・少林寺拳法】多様な武道の学習形態を継続していくための課題を確認し、次年度以降の取組にいかす 等

奈良市立平城中学校（奈良県）・・・・・・・・・・ 4 7

<複数種目の武道指導で【銃剣道】に取り組んだ実践>

- ◇【剣道・銃剣道】剣道・銃剣道の学習を通して、礼儀や基本動作等の共通点に気付き、さらに学びを深める授業の展開

氷見市立十三中学校（富山県）・・・・・・・・・・ 4 9

武道授業における複数種目指導 実践研究（事例報告）

空 手 道・剣 道 (2 年次) 生徒の安全・安心を保障しながら 「必要感」を持ち授業に臨む武道授業の実践例 ～生徒にとって必要感ある「学習課題」と、 コロナ禍における安心・安全を保障した授業の展開～	東根市立大富中学校（山形県） 電話番号 0237（47）2594 メールアドレス ohtomi@theia.ocn.ne.jp
--	--

●実践研究のねらい

- 1 新型コロナウイルス感染症対策を意識した「新しい生活様式」を拠り所として、実施種目の選択と学習形態、学習内容を計画し、生徒にとって安心・安全に実施することができる。
- 2 武道の持つ特性を味合わせたり、日常生活への必要感を持たせたりすることができる学習課題、学習形態を、外部指導者の経験と知恵を活用して計画・実施し、習得させることができる。

●複数種目指導モデル 第3学年（2学級50名）

	1	2	3	4	5	6
種目	剣 道					空 手
学習内容	・ 礼法の復習 ・ 足さばきの復習 ・ 立礼・座り方・座礼・立ち方 （前後送り足）	・ 礼法の復習 ・ 足さばきの復習 ・ 構え方（中段）・納め方 ・ 空間打突（面）	・ 足さばきの復習・学習 ・ （踏み込み足） ・ 空間打突（小手） ・ 空間打突（小手・面）の連続技	・ 剣道連盟五級審査合格に向けた、各自の課題別練習活動。 ・ 連続技 ・ 空間打突（小手・面・胴）の ・ 空間打突（胴）	・ 剣道の連盟五級審査会 ・ 活動の振り返り	・ 演武鑑賞 ・ 基本姿勢・上段の突き・蹴り ・ 世の中での役立つ護身術 ・ 実演（簡易発表会）

●指導の工夫

1 ねらいを達成するための効果的な指導の工夫

- (1) 道具（道着・面・こて・胴等防具）を使わない。☛ねらい1
- (2) とともに、他者と対峙する場面が少ない『型』を極める学習内容である。☛ねらい1
- (3) 上段突き・上段突きに対する防御（以上空手）、こて・面・胴・礼法・足さばき（以上剣道）が成立する「見方・考え方」を働かせた「相互評価」場面の設定と、それを活かした実践（技能）場面の設定。振り返り場面が「全日本剣道連盟五級審査会（剣道）」「演武（簡易）発表会（空手）」☛ねらい1・2
- (4) 日常生活と密接に関連する「学習課題」の提案
～空手の「護身」の仕方と剣道の「礼法」の仕方～ ☛ねらい2
- (5) 学習指導要領に準ずることや、授業者の意図を組んだ指導補助となるよう、外部指導者の方と事前に打ち合わせを持ち、育てたい生徒の姿を共有した。☛ねらい1・2

2 生徒の安全を確保するための工夫

- (1) 学習内容を『型』の出来栄え、学習形態を『個』での発表とすることで、新型コロナウイルス感染症対策及び重傷の皆無、軽傷の激減を目指した。
- (2) 熱中症予防とけがの防止の観点から、通常『水泳』の授業が実施される時期（寒くない時期）に実施した。

●授業の様子



【全日本剣道連盟五級審査会（剣道）】

空間打突による「こて・面・胴」「足さばき」「礼法」について学んだ「見方・考え方」を活かして相互評価している場面。



【護身術習得場面（空手）】

実生活で役立つ内容であることから、興味・関心が高く、活気ある授業となった。

●生徒の意識、感想、変容など

1 空手・剣道の授業で学んだ「技」を、対人で活かしてみたいですか？	2 空手の「護身術」や、剣道の「5級審査」という学習課題は、授業で学びたいと感じる学習課題でしたか？	3 武道の授業は、安全で、安心感をもって取り組むことができましたか？
16.0% 84.0% ■ 試合をしてみたい。 ■ 痛い、怖いという理由から、型の学習が良い。	8.0% 92.0% ■ 頑張る理由になった。 ■ 頑張る理由にならなかった。	4.0% 96.0% ■ 取り組むことができた。 ■ 取り組むことができなかった。

●成果と課題

【成果】

- 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2021. 4. 28 Ver. 6) ※ 2021. 5. 28 一部改正に則り、生徒の安心・安全を担保しつつ、武道の学びを止めることとなない単元計画により本年度も実施できたことは大きい。「道具がそろわないとできない」「怪我が多い」等のできない理由よりも、むしろ、このコロナ禍に「個」の活動を通してかつ、「協働」して学ぶことのできる武道は、これまで以上に学習価値が高い単元である。
- 生徒の思考回路について、「なぜ学ぶ」→理解→「何を学ぶ」→理解→「いかに学ぶ」→「評価」をイメージして単元計画した。全てが興味関心が高いわけではないことから、学ぶ目的について、生徒に納得感があって初めて主体的・対話的で深い学びとなる。「生徒の変容」からも分かるように、学習課題設定の大切さに改めて気づくことができた。

【課題】

- 生徒の「やってみたい」「深く学びたい」欲求を満たすことと「運動量の確保」を更に追及していくこと。剣道であれば「打突したい」、空手であれば「技を実際に試したい」という感想が多くある。私達指導者側には、「基本の定着なくして活動なし」という固定概念が、武道に限らずどの種目にも根強くある。探究型の学び、主体的・対話的で深い学びの根幹は、「まずはやってみたい」という生徒のニーズに応えること。私達指導者の意識改革が必要である。生徒の意を組み、対人での学習（試合）が、思いっきりできる今後の状況の改善を祈る。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

空手道・柔道 外部講師と教師とでつくりあげる、ICT機器を活用した武道の学習実践例	伊勢崎市立殖蓮中学校（群馬県） 電話番号 0270-25-4445 メールアドレス uehasuchu@isesaki-school.ed.jp
---	---

●実践研究のねらい

- 外部講師との連携とICT機器の活用を通して、効果的な学習形態の構築を図る。
- 複数の武道を学習することにより、それぞれの特性や楽しさを味わいながら、礼儀や基本動作、基本となる技の習得や知識の定着を図る。
- 感染症対策を行いながら安全に実施できる学習活動と学習環境の工夫を図る。

●多様な武道の指導モデル（1～3学年15学級561名）※11月・12月を武道強化月間とした。

時数	1年(空手・柔道1年目)	2年(空手・柔道2年目)	3年(空手2年目・柔道3年目)
1	空手①オリエンテーション・礼法・基本動作	空手①オリエンテーション・礼法・基本動作	空手①オリエンテーション・礼法・基本動作
2	空手②基本動作・形	空手②形・グループ学習	空手②形・グループ学習
3	空手③形・グループ学習	空手③形・グループ学習	空手③形・グループ学習
4	空手④グループ学習・発表	空手④グループ学習・発表	空手④グループ学習・発表
5	柔道①オリエンテーション・礼法・受け身	柔道①オリエンテーション・礼法・受け身	柔道①オリエンテーション・礼法・受け身
6	柔道②礼法・受け身	柔道②受け身・固め技	柔道②受け身・固め技
7	柔道③受け身・固め技	柔道③受け身・固め技・崩し	柔道③受け身・固め技・崩し
8	柔道④受け身・固め技	柔道④受け身・崩し・投げ技	柔道④崩し・投げ技・グループ学習
9	柔道⑤固め技・崩し・グループ学習	柔道⑤崩し・投げ技・グループ学習	柔道⑤崩し・投げ技・グループ学習
10	柔道⑥崩し・投げ技・グループ学習	柔道⑥崩し・投げ技・グループ学習	柔道⑥学習発表会
11	柔道⑦崩し・投げ技・グループ学習	柔道⑦崩し・投げ技・グループ学習	
12	柔道⑧学習発表会	柔道⑧学習発表会	

※グループ学習では、タブレット等のICT機器を使った学び合いの活動を行った。

●指導の工夫

- 空手においては、外部講師1名、教員2名体制で指導ができた。技術の習得には、専門的な視点から指導をしていただき、教員2名は、戸惑っている生徒や動きが分からない生徒に対しきめ細かな指導を行うことができた。また、学習内容や技能習得状況、グループ編成等、外部講師ときめ細かく情報共有を図り、スムーズに指導を行うことができた。
- 空手学習の後半では、ICT機器（タブレット端末）を活用し、友達同士で撮影し合いながら自分の動きを確認したり、アドバイスし合ったりしてしたことによって意欲や関心を高め、課題解決学習につながった。
- QRコードを生徒に提示し、朝学習の時間や家庭学習において、空手の「基本形1」の手本動画を視聴することができるようにした。

●授業の様子



外部講師による専門的な技術指導の様子



ICT 機器を活用した学習の様子





グループ練習、グループ発表の様子

【外部講師による専門的な技術指導】

【ICT 機器を活用、グループでの主体的な学習】

●生徒の意識、感想、変容など【授業後のアンケート（1，3年）】※「はい」「どちらかと言うとはい」の割合

質問	1年男子	1年女子	3年男子	3年女子
2種目の武道を学習したことで武道への関心は高まったか	96%	92%	92%	98%
2種目の武道を通して伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まったか	88%	83%	89%	98%
これからも多くの武道種目を学習したいと思うか	78%	72%	78%	88%
タブレットを使ったことで、自分や友達の動きや技の様子を分析したり、話し合ったり、アドバイスしたりすることができたか	82%	85%	79%	97%
タブレットを使ったことで、基本動作や技の習得に繋がったか	91%	87%	87%	92%

4 自由意見

- ・タブレット端末で自分の動作や立ち姿を見ることによって、どこができていないかなど自分自身で分析できた。（1年男子）
- ・初めてやったので難しいこともあったけど、技を少しずつ覚えていくにつれ、武道の楽しさが分かってきました。（1年女子）
- ・武道は他のスポーツと違った楽しさや面白さがあり、とても楽しく学ぶことができた。また、武道を通して伝統を感じることができた。（3年男子）
- ・タブレット端末を活用したことで、そろっていない動作や分からない動作を練習してそろえることができた。友達と意見を出し合いながら練習に取り組むことができました。（3年女子）

●成果

- ICT 機器（タブレット端末）の活用は、自分の動きを客観的に見ることができ、自分の課題が明確になった。また、動画を撮ることにより、グループでの動きをより合わせようという意識や意欲が高まり、技能向上につながった。
- 技能の習得だけでなく、ICT 機器の活用により、思考力・判断力・表現力の育成にもつながった。講師による手本は、胴着のこすれる音やきれいのよい動作を、目と耳と気配で感じ取ることができた。直接の指導があるからこそ、動画での復習が有効であった。
- 空手道を行ってから柔道を行ったことで、礼儀や基本的な立ち方、座り方などの礼法についての理解や技能の習得が見られた。復習も兼ね学習を行えたことで日常生活に生かすことができた。また、胴衣の着脱がスムーズで取り組みやすかった。

●課題

- タブレット端末の活用に慣れていない生徒もあり、入力や操作で時間がかかってしまう場面もあった。
- アンケート結果より、空手道と柔道の両方を経験したことで、武道への関心が非常に高まったことが分かった。また、外部講師の専門的な指導はもちろん、タブレット端末を用いたことで、生徒たちの対話的かつ主体的な学びが多く見られ、効果的な学習に繋がった。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

空手道・柔道	佐渡市立真野中学校（新潟県） 電話番号 0259-55-2104 メールアドレス mano-js@sado.ed.jp
-----------------	---

●実践研究のねらい

- 複数の武道の特性や歴史を学び、礼法、マナー、相手を尊重する精神を身に付ける。
- 武道に親しむ機会を設け、生涯スポーツへの意識を高める。
- 外部指導者の専門的な知識や指導力を生かし、生徒の知識・技能向上を目指す。また、保健体育科教員の指導力・資質向上を目指す。

●多様な武道の指導モデル 全学年（1年38名、2年35名、3年40名）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9
種目		空手道			柔道					
学習の流れ	1年	オリエンテーション	①導入	オリエンテーション・道着の着方	礼法 立ち方 組み方 役割	前受け身 横受け身 けさ固め	返し技 けさ固め	固め技の攻防	学習の振り返り	
	2年		②基本動作				前受け身・横受け身 前回り受け身	大腰		支え釣り 込み足
			3年			③形の学習				
	基本1の形									
	④班練習									
	⑤演武(班)									
	⑥師範の演武披露									

●指導の工夫

1 複数武道（柔道、空手道）を効果的に指導するための工夫

○オリエンテーションの工夫（空手道）

空手道のイメージは、瓦を割ったり、木の板を蹴り折ったりするものであった。そこで、今年度開催されたオリンピックの動画を中心に視聴させた。形と組み手の違い、個人と団体があることを知り、実際の競技を見ることで、礼法や競技に挑む気持ちの充実度等を学んだ。空手道の突き・蹴り・受けなどの動作の組み合わせで演武すること、相手の動きを想定し、攻防する高い技能を有する組手について、多くの生徒が高い関心をもち、授業に臨むことができた。

○空手道と柔道の関連づけ

武道の基本精神は、礼法を重んじ、相手を尊重することである。空手道と柔道を通し、外部指導者の方からもご指導いただくことで、意識を高めることができた。特に空手道は、攻撃することよりも身を守ることを重視していることを知ることができた。

2 見通しをもった指導計画

武道の授業は、昨年度から柔道を選択したため、現3年生の経験値を上げるため、今年度も柔道の授業を行った。次年度も全学年で柔道を実施し、技能向上を目指す。また、空手道も可能な限り、継続し、社会体育、生涯スポーツに繋げていきたい。

●授業の様子



【 空手道 】

団体形の演武 基本1の形の稽古
全体稽古後、各グループで演武

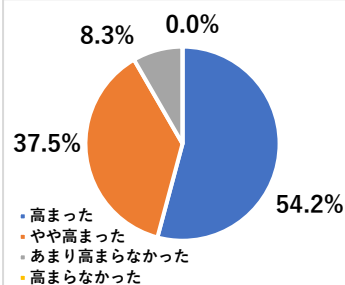


【 柔道 】

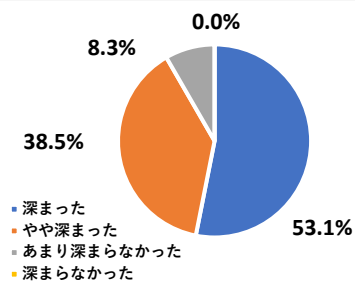
支え釣り込み足の稽古
各ペアでの稽古後、乱取りを行った。

●生徒の意識、感想、変容など

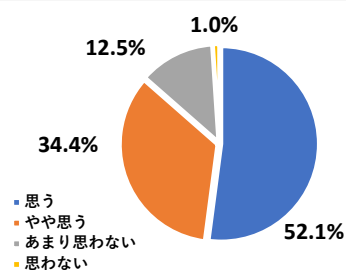
1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



4. 自由意見

- 様々な武道が学習できて楽しかった。高校でも学んだことを発揮できるように頑張りたい。
- テレビで柔道や空手を見て、「勝ったんだ」という程度に思っていたけれど、実際にやってみてオリンピック選手は凄いと改めて感じた。
- もっといろいろ挑戦したい。合気道をやってみたい。

●成果

- 柔道は昨年からはじめた2、3年生は、昨年の経験から受け身や固め技にスムーズに取り組むことができた。また、礼法、相手を尊重することの重要性を学び、相手の安全を留意しながら技の攻防を楽しむことができた。僅かな時間であるが、毎年継続して計画的に授業を取り入れていくことにより、より高い技の習得や柔道の楽しさを体感できると考える。
- 空手道は形と組み手があることを知り、生徒の中にはもっと様々な武道をやってみようという声が上がっていた。

●課題

- 生徒アンケートの結果、個別指導や声がけの項目が低かった。短時間での授業で約40名の生徒を対象に実施するため、実際に個別指導は難しかったり、じっくり指導する時間が持ちにくかったりする現状である。そのため、体育教師がサポートに入り、個別指導や声がけを行っているが、今後の課題としていきたい。
- 外部指導者の確保。勤務をしながらの指導は、大変負担のかかるものであるため、地域で指導をお願いする方が限られてしまう。また、他の武道に挑戦したくても、佐渡島内に指導できる方がいないため武道の選択肢が限られてしまう。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

剣道・空手道

美祢市立於福中学校（山口県）
電話番号 0837-56-0018
メールアドレス ohuku-j@c-able.ne.jp

●実践研究のねらい

- 剣道と空手道という複数種目の武道学習を通して、基本動作等の共通点や相違点を知り、体感することで、武道への理解を深めるとともに、種目の特性や自己の適性に応じて、武道への興味関心を広げていくことを目指す。
- 技の指導では、道具（竹刀）を用いる剣道と徒手（素手）で攻防を行う空手道を経験することで、種目の特性に応じた身体操作や対人技能を習得する指導の充実を図る。
- 地域スポーツ指導者の専門的な指導を通して、限られた授業時間の中で、伝統的な行動の仕方から簡易な攻防までを効果的に学習し、安全を確保した指導体制を確立することを目指す。

●多様な武道の指導モデル 第2, 3学年（1学級 6名）

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	剣道				空手			
学習の流れ	種目ごとに第1時の導入はオリエンテーション							
	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）							
	準備運動、伝統的な行動の仕方							
	基本動作の学習			学習のまとめ	基本動作の学習			学習のまとめ
	基本となる技の学習				基本となる技の学習			
	簡易な攻防の学習				簡易な攻防の学習			
	整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）							

●指導の工夫

1 複数武道を効果的に指導するための工夫

- 視覚的資料の活用
武道の歴史や意義をまとめた動画や掲示を活用し、限られた時間の中で学習効果を高める。
 - 教具等の活用
剣道の木刀・模造刀や空手のグローブを使って技の特性を理解しやすくする。剣道では音楽を空手では気合いの発声等を用いて、身体操作のリズムを引き出し、楽しく学べるようにする。
 - 体感を重視した指導
実際に技（打突など）を当てたり、当てられたりする感覚・イメージをつかむために、生徒相互や地域指導者が受け方の工夫をしたり、状況の想定をして学習する場面を設ける。
- ※ 振り返り時間の設定…教科担任が別に事後指導の時間を設けて、学習の定着を図った。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 種目の特性と安全の確保
地域指導者との打合せの段階から、教具・活動場所等の環境や対人面での心得など、安全確保に必要な指導や支援について具体的な対話や確認を進める。
- 感染症予防
マスクの着用、手指・教具の消毒、距離の確保等の徹底により感染の予防に努めた。

●授業の様子



【オリエンテーション等】

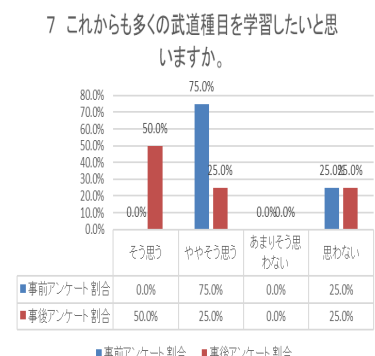
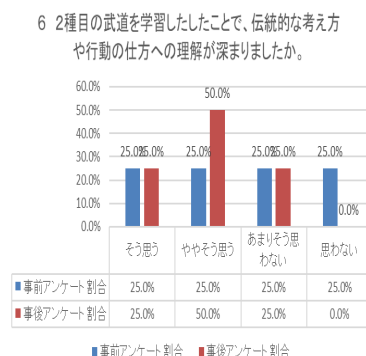
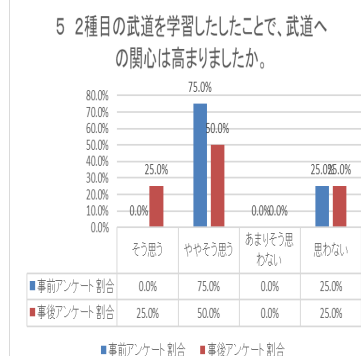
学習する目的や武道の成り立ち、学校教育での意義などを地域スポーツ指導者から専門性の高い指導をうけ、安全面での配慮や相手を思いやる精神などの関心を高められるようにした。



【対人的技能の練習】

型の動作だけでなく、実際に目標物に技を当てる感覚をつかむことで、精度の向上や技の特性を知ることができるようにした。

●生徒の意識、感想、変容など



自由意見

- 剣道と空手の2種目を体験したが、どちらも相手への敬意を忘れないことを学んだ。
- 気合いは大切だと思った。
- 正座にはいろいろな立ち方や座り方があることを知った。

●成果

- 事後アンケートでは、1種目終了時より2種目終了時の方が武道学習に対する好感度が高まった。
- 授業実施前は、武道に抵抗感のある生徒が半数いたが、事後のアンケートでは好感度が高まっている。武道のもつ良さと、地域スポーツ指導者の指導方法が効果的に働いたと考える。
- 日本の武道における「礼儀」や「惻隠の情」といった考え方が、相手を尊重し相手の存在意義を考える機会となり、生徒たちの心の育成にもつながっている。
- 事前に地域スポーツ指導者と指導計画等について対話することができたため、担当教員との役割分担ができ、指導経験のない担当教員への支援や資質向上にとって有意義であった。モデル事業の推進に当たっては、校内でも役割分担をして進めることができた。

●課題

- 地域スポーツ指導者の指導に対する考え方や姿勢が、学校での学びに適したものであることが重要である。そのための指導者確保や指導者との事前の入念な対話が必要不可欠だと考える。
- 複数種目を学ぶことで一つの種目の学習時間が少なくなり、学習内容の習得や学習の深化に難しさがある。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

相撲・空手道 外部指導者と体育担当教員が連携した相撲授業及びICTを活用した空手道の授業展開	徳島市川内中学校（徳島県） 電話番号 088-665-3471 メールアドレス kawauchi_jh@tgn.tcn.ne.jp
--	--

●実践研究のねらい

- 外部指導者と連携して相撲の歴史や現状を理解させ、相撲に関心を持たせる。
- 外部指導者と体育担当教員が連携して、基本動作を身につけ、伝統的な行動の仕方を習得させる。
- ICTを活用し、映像でわかりやすく説明し、基本技能を習得させる。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（5学級151名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
種目		相撲							空手		
学習の流れ	オリエンテーション（相撲）	導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の学習の見通し）									
		準備運動			準備運動、基本動作と受け身の練習					オリエンテーション（空手）	基本動作の学習
		基本動作の学習	簡易試合・学習のまとめ	基本動作の学習	押し・寄りの学習		押し・寄りを使った簡易試合				
		受け身の学習		押しの学習							
		中腰の構えの学習									
		整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）									

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 蹲踞・塵浄水といった礼法の指導に重点をおいて、相手を敬う心の大切さを理解させた。外部指導者からも礼法の意味を具体的に説明していただいた。
- 中腰の構えを中心にして寄り・押しといった相撲の基本動作を専門的な立場から指導していただいた。
- 手押し相撲・蹲踞相撲・押し相撲など、学習の段階にあわせた簡易試合を行った。
- 空手道では、映像でわかりやすく説明した。
- かけ声を出すことで、学習意欲が高まりが感じられた。

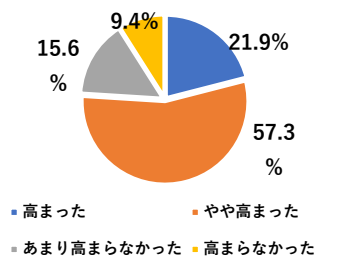
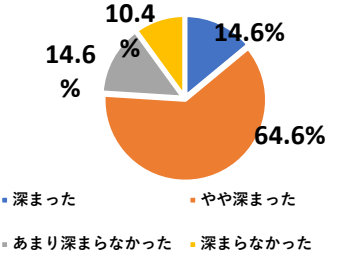
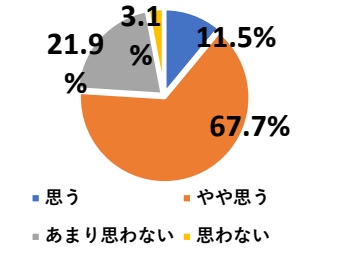
2 生徒の安全を確保するための工夫

- 柔軟運動やストレッチ、受け身運動を毎時間行い、ケガの防止に努めた。
- 外部指導者と体育担当教員が連携して試合運営など目を配り、危険が無いよう指導した。
- 土俵がないため体育館に相撲マットを敷き、その周りに体育用のマットを敷きつめ、安全面に配慮した。

●授業の様子

	
【中腰の構え】 基本的技能の核となる中腰の構えの練習	【蹲踞・塵浄水・簡易試合】基本所作の意味や歴史を学習した上での練習マットを使った簡易試合
	
【受け】ICTを使った基本的技能となる受けの練習	【約束組み手】突きと受けの練習

●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
 ■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった	 ■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった	 ■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない
4. 自由意見 ○相撲を知っているが、礼法や成り立ちについては知らなかった。 ○見よう見まねで動いていたが、外部指導者の的確なアドバイスによって基本動作を習得できた。 ○簡易試合を行うことによって、自身の課題を見つけたり、新しい技への関心を持てたりなどの効果があった。		

●成果

○外部指導者や公開されている動画の丁寧な説明で生徒たちも相撲に興味を持つことができた。 ○外部指導者の専門的な指導で、基本動作や礼法についてもわかりやすく学習することができた。体育担当教員も外部指導者からアドバイスを受け、相撲の指導法についての研修を深めることができた
--

●課題

○今回の実践を通して、授業をするにあたって、十分な設備が整っていないことが明確となった。土俵やマットなどの場の設定や、簡易廻しなどの備品の確保が課題である。本格的な試合を行うためにも必要であると考えます。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校（事例報告）

相撲・空手道 相撲と空手道を通して、武道固有の礼法や基本動作を学習することにより、日本伝統文化の理解と安全で楽しい武道の授業展開	阿南市立新野中学校（徳島県） 電話番号 0884(36)2040 メールアドレス aratyu@ca.pikara.ne.jp
--	--

●実践研究のねらい

- 相撲、空手道を通じて日本伝統文化を体感し礼法や礼儀、マナー、思いやりを大切にする態度を養うとともに、安全に練習に取り組む態度を育てる。
- 外部指導者と連携した指導体制により生徒の技能を保障し、体育科教員の指導力を高める。
- 空手道の授業において「形」の指導にリズムを取り入れ楽しく学ばせる。

●多様な武道の指導モデル 第1・2・3学年（3学級48名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
種目	オリエンテーション 「相撲・空手」	相撲						空手道	
学習の流れ		導入【挨拶，伝統的な行動の仕方，健康観察，本時の見通し】							
		蹲踞・塵浄水						空手道の歴史	
		基本動作の練習			基本動作・受け身練習			礼法，立ち方	
		受け身の練習			約束練習			基本・基本形	
		約束練習【技ポイントの確認】						空手道に必要な基本形を身につけ楽しむ。	
		簡易試合・試合の運営【審判練習】							
		整理運動【本時の振り返り・次時の連絡・挨拶】							

●指導の工夫

多様な武道種目の指導において工夫した点

- ・2種目の武道を進めるにあたり指導内容を精選し限られた時間内で、生徒が達成感や楽しさを味わうことができるよう、指導内容の精選を図った。
- ・生徒へ視覚的な理解を促すために、特に空手道では、東京オリンピック、全日本空手道連盟制作の映像などを活用し、より効果的に、武道の理念や動きなどを理解させた。
- ・相撲の授業においては、専門的な知識を持った外部指導者の方に継続的に指導していただくことで、基本動作、基本となる技の定着、簡易的な試合、試合で相撲をとる楽しさや喜びを体得させていただけた。
- ・空手道の授業については、全日本空手道連盟制作の映像や資料から空手道の歴史（どうやって生まれたか）また、空手は、（空手に先手なし）人を傷つけるためのものではなく、いざという時に自分の身を守るためのものであることなどを指導した。
- ・空手の運動の特性として左右対称の動きが多いので、バランス良く高めていけると考え、空手の形に類似した動きをリズムで体に体得させ、空手道の学習を楽しめるようにリズムを使用した。

●授業の様子



【 相撲:基本動作の定着 】

毎時間、基本動作の練習を取り入れ、身につくように心がけた。

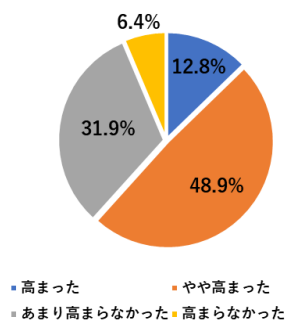


【 空手道:形の練習 】

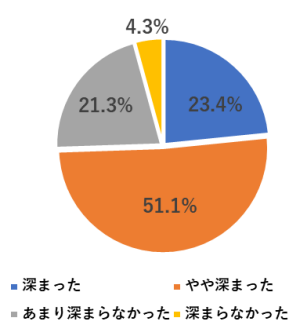
空手道を楽しく学ばせるため導入にリズムダンスを使った。

●生徒の意識、感想、変容など

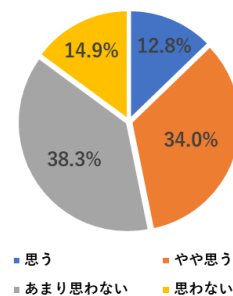
1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



4. 自由意見

- 相手への思いやりを大切にしていきたい。もっとできるようになりたい。○オリンピックの動画を見て、カッコよくて動き方がきれいでした。○空手や相撲の相手を思いやり尊敬し合う武道はすごくいいなと思いました。○音楽にのせてできたのが楽しかったです。○やってみると意外とおもしろく、また独自でもいろいろな武道をしてみたい。
- とても楽しかったです。また来年が楽しみです。○武道の授業で、相手を思いやる強い心などのことを学び人間的にも成長したように思います。

●成果

- 外部指導者の方に、ここ数年継続的に指導していただけていることで、生徒たちの様子や成長過程を知ってもらっているのが、一人ひとりにとって的確なアドバイスをその都度、いただけた。
- 相撲の2つの大切な心が、生徒たちの心に、きちんと入り、人間として一番大切な心を学んだと思う。
- 空手道においては、正直、2つの武道をとという依頼を受け、一番安全で、生徒たちに入りやすいかなと空手道の形と類似した動きをリズムで教えたことは、生徒たちが楽しくやっていたように思う。

●課題

- 今後新型コロナウイルス感染症の状況がどうなるのか不透明な部分があるが、どのような状況下であっても、しばらくは「withコロナ」の気持ちで、感染対策の徹底を図り、武道ができるよう研究していきたい。
- 多様な武道ということで、安易に空手道を取り入れたが、武道を2種目することの大変さを実感した。もう少し自分なりに空手道について考えていきたい。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

柔道・空手道 地域指導者との連携により、武道の伝統的な考え方を深め、学習意欲を高める実践例	鹿屋市立吾平中学校（鹿児島県） 電話番号 0994-58-7126 メールアドレス aira_jhs@edu-kanoya.net
---	--

●実践研究のねらい

- 柔道及び空手道に専門的な技能を有する地域の指導者を招聘し、武道の伝統的な考え方を理解させ、基本動作と基本となる技などを確実に習得させるとともに、保健体育科教員の指導力向上を図る。
- 礼法や受け身、形などを学ぶことが日常生活や他の活動に発展的に活用できるなど、武道に対する興味・関心を高めることを目指す。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（2学級68名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
種目	武道全般	空手道（地域指導者）			柔道（地域指導者）			柔道			
学習の流れ	導入（あいさつ・健康観察・学習の見通し）										
	準備運動・補助運動（基本動作）										
	オリエンテーション	オリエンテーション	学習立ち方・受け身・礼法と基本動作の学習	形の団体戦にむけた学習	オリエンテーション	礼法と基本動作の学習	受け身の練習				固め技を用いての簡易な攻防を展開する学習
	成り立ちや伝統的な考え方等の学習	成り立ちや伝統的な考え方等の学習	形の団体戦にむけた学習	形の団体戦	成り立ちや伝統的な考え方等の学習		固め技の学習	立ち技の学習	柔道学習のまとめ		
	礼法と基本動作の学習	礼法と基本動作の学習		空手道学習のまとめ	礼法と基本動作の学習	受け身の練習					
		礼法と基本動作の学習									
	整理（整理運動・健康観察・振り返り・次時の連絡・あいさつ）										

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 指導内容の精選

武道経験がほとんどない生徒たちに対し、実態に合わせて段階的に学べるよう、単元が始まる前に保健体育科教員と地域指導者で協議して指導内容や指導計画を見直し、共通理解を図った。

- T1、T2の役割分担の明確化及び本物を見る場の設定、タブレットの活用

授業では保健体育科教員がT1として、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程に沿って全体指導を、地域指導者がT2として、具体的な動作のイメージがもてるよう実演と技のポイントや注意点などの技術指導を行い、個別指導はT1、T2で巡回しながら行った。また、生徒自身もタブレットを活用することで、自分や仲間の動きを確認することができた。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 活動前には安全面の注意点を毎回確認し、危険と判断した場合、即座に活動を停止させた。
- 受け身を扱う際は、座位などの低い姿勢から膝立ちなどの高い姿勢を段階的に扱った。（柔道）
- 運動時の接触や密集を避けるため、間隔を確保して取り組ませた。
- 特別な支援を要する生徒には特別支援教育支援員がつき、安全対策を徹底した。

●授業の様子



【受け身の学習】

受け身を扱う際、座位などの低い姿勢から膝立ちなどの高い姿勢に段階的に行った。生徒も安全にかつ意欲的に取り組むことができた。



【地域の指導者による演舞】

専門家による実演を通して、迫力を感じさせたり、動作のポイントや具体的なイメージをつかませたりすることができた。

●生徒の意識、感想、変容など（対象は1，2年生）

1 2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2 2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3 これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった	■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった	■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない
4 自由意見 ○ 空手はかっこよいと思っていて、実際にやってみてとても楽しかった。 ○ 柔道や空手道は簡単なものだと思っていたが、実際は難しかった。また、体を鍛えるだけでなく、心を鍛え、礼儀作法も身に付けることができた。		

●成果

- 地域指導者と連携した授業を通して、指導経験の浅い教員が指導のポイントやコツなどを具体的に学ぶことができ、指導力向上が図られた。また、生徒たちが技能を正しく習得することができた。
- 異なる種目を取り扱うことで、生徒が武道共通の伝統的な考え方や行動の仕方の理解を深めることができ、武道に対する興味・関心が高くなった。
- TTでの指導体制により、個別指導や安全面への配慮も十分行うことができた。

●課題

- 柔道7時間の指導計画と空手道3時間の単元計画としたが、授業を実施していく中で、特に女子生徒の空手道への興味・関心が高かった。柔道と空手道の取扱い時数や単元全体の時数が今後の課題であると考え、他の領域とのバランスを考慮し、より生徒の実態に即した学習となるよう検討していく必要がある。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

剣道・なぎなた 剣道となぎなたの基本動作の共通点を意識しながら、基本的な対人技能を習得する授業の展開	釜石市立大平中学校（岩手県） 電話番号 0193（22）4158 メールアドレス ohdaira-jh@edu-kamaishi.jp
--	--

●実践研究のねらい

- 剣道からなぎなたへとつながる多様な武道指導の中で、相手の動きに応じた基本動作などの共通点に気付かせながら、基本的な対人技能の習得を図る。
- 地域指導者の活用について、「教師との役割分担を明確にすること」「限られた単元計画内における地域指導者からの指導内容を精選すること」により、生徒が楽しさを感じる指導を目指す。
- 武道指導を通して、我が国固有の伝統と文化について学ばせるとともに、それぞれの種目の特性に触れさせながら、安全を確保した指導体制の確立を目指す。

●多様な武道の指導モデル 第3学年（1学級29名）

学年	第2学年									第3学年								
時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8	
種目	剣 道									なぎなた								
学習の流れ	オリエンテーション	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）									オリエンテーション	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）						
		準備運動										準備運動						
		礼法・構え	基本動作	基本となる技				学習のまとめ	礼法・取扱い・構え	基本打突		打ち返し		大会形式の演技競技				
				簡易な攻防						打突練習		しかけ応じ						
	特性 成り立ち									受け方の練習								
	礼法	まとめ（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）									特性 成り立ち	まとめ（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）						

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 指導内容の精選
限られた授業時間内で、生徒が達成感を味わうことができるよう、地域指導者との役割分担を明確にしながら指導内容を精選する。
- 生徒の理解を促す資料等の充実
近隣高等学校なぎなた部顧問の協力を得ながら映像や掲示物などの資料を充実させるとともに、担当教員自ら模範演技を行うことで視覚的な理解を促した。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 安全な運動の行い方の理解
用具のぶつからない範囲を体育館のラインやカラーコーン等で意識させたり、列を交互にずらしで空間をつくるなど、生徒一人一人の安全な活動スペースを確保した。

●授業の様子



【地域指導者との役割分担】

地域指導者は示範することで全体指導を行い、教師は生徒と同じ動きをやって見せる等、それぞれの役割分担を明確にした。

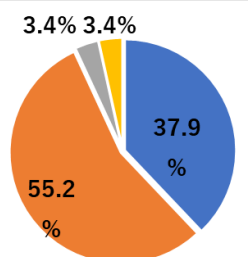


【安全への配慮】

安全及び技能習得の観点から、近隣高等学校なぎなた部顧問の協力を得て、2名の地域指導者で指導にあたった。

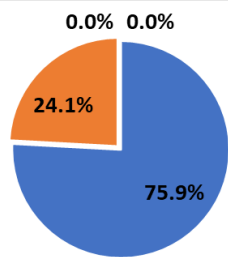
●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



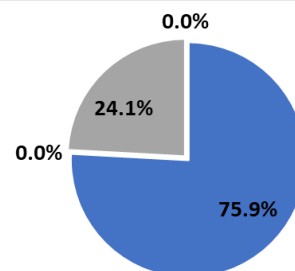
■ 高まった ■ やや高まった
■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった

2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



■ 深まった ■ やや深まった
■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった

3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない

4. 自由意見

- なぎなたの歴史や特性を学び、なぎなたのことが好きになったし、実際にやってみてすごく楽しかった。機会があれば、また授業でやってみたいです。
- なぎなたについてあまり知らなかったけど、授業を通して出来ることが増えて、とても楽しい授業でした。また、なぎなたをやってみたいし、なぎなたについて詳しく知りたいと思いました。

●成果

- 第2学年で学習した剣道から、第3学年のなぎなたの学習につなげたことで、礼法や足さばきなどの共通点を見出すことができ、なぎなたの学習を効率よく進めることができた。
- 多様な武道を実践していくためには、地域指導者の存在が重要である。授業を通じて教員も地域指導者から学び、なぎなたの指導力が向上した。

●課題

- 学習指導要領に対応した評価規準設定や地域指導者の確保については、今後検討が必要である。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

なぎなた・相撲	萩市立田万川中学校（山口県） 電話番号 08387-3-0556 メールアドレス tmgw556@edu.city.hagi.lg.jp
------------------	--

●実践研究のねらい

- 地域スポーツ指導者の専門的な指導により、生徒の意欲や関心が高まる授業を計画する。
- 武道の歴史、礼法及び伝統的な所作や作法を専門的に学ぶことを通して、相手を尊重し、伝統的な所作や作法を守ろうとする意識を高め、田万川地域で伝統的に親しまれてきた相撲文化の伝承を図る。
- 地域スポーツ指導者と連携して授業を行うことで、保健体育科教員の専門的な知識や技能の習得による指導力の向上を図る。

●複数種目指導モデル 第1学年（1学級 13名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
種目		なぎなた				相撲					
学習の流れ	オリエンテーション	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）									学習のまとめ
		基本動作の学習 （足さばき、自然体）	基本動作の学習 （構え、足さばき）		相撲の歴史 について	基本動作 （蹲踞、塵浄水、四股、すり足）			突き押し		
			持ちかえ技 （側面、すね）			まわしのしめ方					
		打突の学習 （正面、すね）	打ち返し		基本動作 （礼儀） （四股） （すり足）	ミニゲーム （瞬発力） （足さばき）	突き押し	主審、進行 の練習			
		対人技能の学習 （受け方）									
		リズムなぎなた									
		整理（本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）									

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

○指導内容の精選

限られた時間内で生徒が達成感を味わうことができるよう、指導内容の精選を図る。

○生徒の視覚的な理解を促す資料の充実

映像や掲示物などの資料を充実するとともに、資料を活用した協働的な学習場面を設ける。

2 生徒の安全を確保するための工夫

○地域スポーツ指導者と教員あわせて3名の指導により、生徒の活動場面では常に安全面を配慮しながら、きめ細やかな指導や支援を行った。

○相撲の単元の全てにおいて、体育館に簡易型の室内土俵を設置し安全の確保を図った。

○2種目とも裸足で行うため、授業前には体育館をモップ掛けし、目視でも床面の破損や危険な物が落ちていないかの確認をした。

○授業の前後には手指や用具の消毒等を行うなど、感染防止対策を講じた。

●授業の様子



【 息を合わせた構えと打突 】

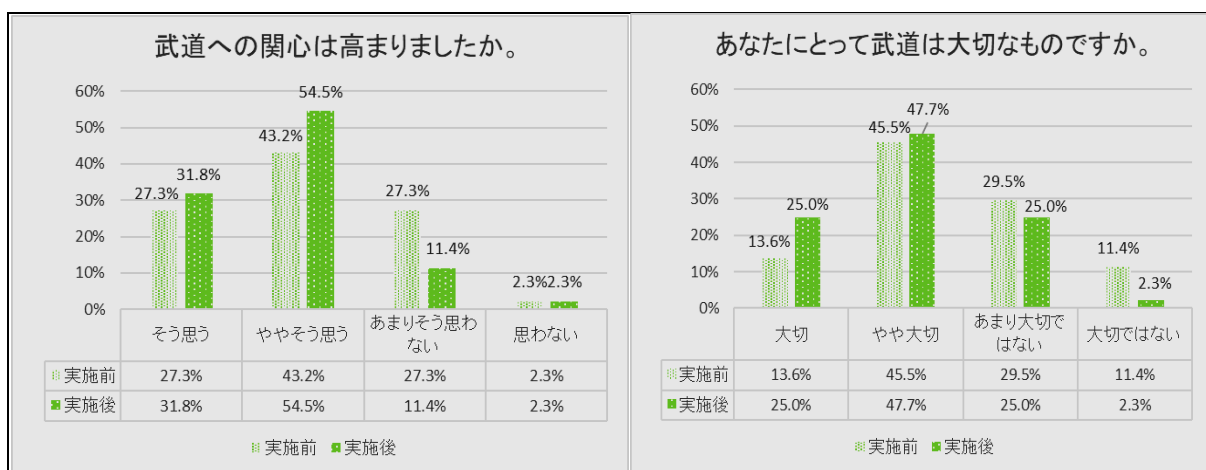
全員でタイミングを合わせて行った「持ちかえ技」や「打ち返し技」は美しく圧巻であった。



【 足さばきトレーニング 】

相撲特有の四股やすり足の動作を、ゲームを交え、楽しみながら行った。

●生徒の意識、感想、変容など



●成果

- 専門的な技能と知識に基づいた指導を受けることにより、武道についての理解を深め、興味・関心を高めることができた。
- 最初は武道に対する不慣れな様子が見られた1年生も、地域スポーツ指導者の熱意と温かい言葉がけによって、意欲的な様子が見られるようになった。
- 伝統文化の理解や、礼儀作法の習得を実感した生徒が多く見られた。

●課題

- なぎなたでは、実際に「打つ・打たれる」の攻防が用具の都合上、実施できなかった。なぎなたの防具を容易に借用できる仕組みを模索している。
- 今年度は感染症の影響で全校生徒による相撲大会が実施できなかった。状況にもよるが、来年度からは本校の行事の一つとして開催していきたい。
- 今後も近隣小学校と連携しながら、相撲を始めとした田万川地域の武道の伝承を図りたい。
- 保健体育科教員にとっても、授業展開の仕方や説明の仕方、試合の進行など、大変参考になることが多く、今後の武道指導の充実に向けて、本事業の果たす役割は大変大きいものであると感じた。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

剣道・なぎなた 礼儀・作法を大切に、相手とともに学ぶ、剣道となぎなたのつながりを意識した授業の展開	松茂町立松茂中学校（徳島県） 電話番号 088-699-2455 メールアドレス matsujhs@crocus.ocn.jp
---	--

●実践研究のねらい

- 単元を通して、剣道となぎなた双方の学習をすることで、武道に共通する礼儀・作法を身につけさせたり、相手を思いやることの大切さに気づかせたりできるようにする。
- 技の指導では、対人的技能の学習において、構えや打ち方に共通点が多い剣道となぎなたをつなげることで、武道の攻防についての段階的な指導の充実を図る。
- 外部指導者の活用について、効果的な教師との役割分担を模索し、限られた単元計画内における外部指導者からの指導内容を精選する。安全を確保した指導体制を確立することを目指す。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（4学級123名） 第2学年（4学級128名）

	1	2	3	4	5	6
種目	剣道			なぎなた		
学習の流れ	導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の学習の見通し）					
	剣道の成り立ち	足さばき	対人的技能の学習	なぎなた紹介	基本動作の学習	基本動作の学習
	礼法	打突部位の確認		道具の扱い方	対人的技能の学習	対人的技能の学習
	竹刀の扱い方	素振り		基本動作の学習		
	構え	対人的技能の学習				
	呼吸を合わせるゲーム	新聞紙切り				
	整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）					

●指導の工夫

1 複数武道を効果的に指導するための工夫

○剣道・なぎなたで共通して学習できる内容の精選

限られた時間内で生徒が達成感を味わうことができるよう、剣道・なぎなたで共通して学習できる内容を検討し、指導内容の精選を図った。

○外部指導者の活用

なぎなたにおいて、専門的な知識をもった外部指導者の方に指導をしていただくことで、型や基本的な技などを身につけやすくなるようにした。

2 生徒の安全を確保するための工夫

○安全な運動の行い方の理解

剣道となぎなた、それぞれの1時間目に安全な運動の仕方について、確認した。

○打つ人と受ける人の確認

剣道となぎなたの両方において、ペアのどちらが打つのか、受けるのかを指示し、技をうつ前に再度確認して練習を行った。

●授業の様子



【 剣道，なぎなた：対人的技能の練習 】

剣道となぎなたのつながりを意識した対人的技能（面打ち）の学習の様子。お互いの動作を理解し合いながら練習を行うことで、技の理解が深まった。

●生徒の意識，感想，変容など

2種目の武道を学習したことで、 武道への関心は高まりましたか。	2種目の武道を学習したことで、 伝統的な考え方や行動の仕方への 理解は深まりましたか。	これから多くの武道種目を学習 したいと思いますか。
【2年生】 ■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった	【2年生】 ■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった	【2年生】 ■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない
【1年生】 ■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった	【1年生】 ■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった	【1年生】 ■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない

○礼儀，礼法を学ぶことができた。相手があってこそその競技であり，相手を思いやる気持ち，相手を尊ぶ心をもつことがいかに大切かを知ることができた。

○それぞれの競技の歴史や伝統的な考え方や行動の仕方を学ぶことができてよかった。

●成果と課題

○2年生は昨年度，柔道となぎなたの2種目を学習したが，今年度の授業の様子を見ていると，柔道となぎなたより，剣道となぎなたの方がつながりやすいようだった。打ち方や受け方，構えに共通している部分が多く，技の習得が早かったように感じる。生徒の感想には，「振り方や受け方が似ていて，あとにした競技の時はスムーズにできた。」「足さばきや構え方が共通していて覚えやすかった。」とあった。武道を複数する場合，つながりを意識する必要性を感じた。

○なぎなたの指導においては，外部指導者の存在は大変重要であった。専門性が高く，道具の準備からはじまり，技の指導など，中心となって授業を進めてくださった。T2として授業に入った本校体育教員は生徒の安全管理を中心に，道具のもちかたや打ち方，受け方の確認など，個別に指導することができた。外部指導者との役割分担や連携をさらに明確にした指導計画について，引き続き検討していく。

●今年度は，剣道となぎなたを3時間ずつ，合計6時間の単元計画をたてた。2種目の武道を学習することで，関心は高まったが，技の習得のためには，あと2～3時間ずつ増加できるとより深まると考える。そのためには，各種目に必要な時間数を確保しながらの時間の捻出が課題となる。

多様な武道等指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

柔道・なぎなた 武道の伝統的な考え方や基本動作を柔道となぎなたを通じて学ぶ授業の展開	伊予市立港南中学校（愛媛県） 電話番号 089-982-0063 メールアドレス kon-jof@senet.ed.jp
--	---

●実践研究のねらい

- 異なる2種目の武道を通して、我が国固有の伝統と文化に触れることで、それぞれの種目が持つ武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方や行い方などについて、共通する内容や違いを理解させる。
- 互いに組み合い、固め技や投げ技を用いて行う「柔道」と、道具を用いて打突による攻防を主体とする「なぎなた」を体験することで、武道に積極的に取り組むとともに、礼儀を重んじ、相手を尊重しようとする態度を育成する。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（6学級199名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
種 目	柔 道										なぎなた		
学 習 の 流 れ	オリエンテーション	健康観察・本時のねらいの確認・準備運動										健康観察	
		礼法 ・座礼 ・立礼 ・左座右起	受け身 ・横受け身 ・前受け身	受け身 ・発展練習	受け身の反復練習					グループ固め対技抗戦	歴史・特性・扱い方の学習		
					固め技 ・袈裟固め ※抑え方 逃げ方	固め技 ・横四方固め ※抑え方 逃げ方	固め技 ・約束練習 ※袈裟固め 横四方固め	投げ技 ・進退動作 の確認	投げ技		準備体操		
												扱い方の実習 基本動作	
							固め技 ・袈裟固め ※抑え方 逃げ方	固め技 ・横四方固め ※抑え方 逃げ方	簡易試合			投げ技	※進退動作を取り入れた技の入り方（取り）
	扱い方の実習 基本動作												
	柔道たみの方着脱	受け身 ・後ろ受け身	投げ技 ・進退動作		・反復練習	・反復練習	・乱取り ※背中合わせの状態から	・体落とし ※技の入り方（取り） ※投げられ方（受け）	※進退動作を取り入れた投げられ方（受け）	単元のまとめ	学習のまとめ		
学習の振り返り・次時の確認													

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- **指導内容の精選** 限られた時間内で生徒が達成感や充実感を味わうことができるように、柔道となぎなたの違いや共通点を洗い出して学習内容を検討し、指導内容の精選を図る。
- **グループ活動の充実** ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、生徒自らが自分たちの課題に気づき、その解決に向けた練習方法を考え、試行錯誤しながら練習に取り組めるようにした。
- グループ編成は、性差や体格差を考慮し、4人一組とした。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 学習内容によって準備運動を変化させることでけがの防止を図った。また、柔道の授業においては、毎時間受け身の練習を行うとともに、個々の能力にあった発展練習を取り入れた。
- なぎなたの授業においては、安全に活動ができるように個々の活動場所を広く設けた。また「なぎなた」の基本的な扱い方を説明した後に基本動作から実習を行った。

●授業の様子



【基本動作の学習】

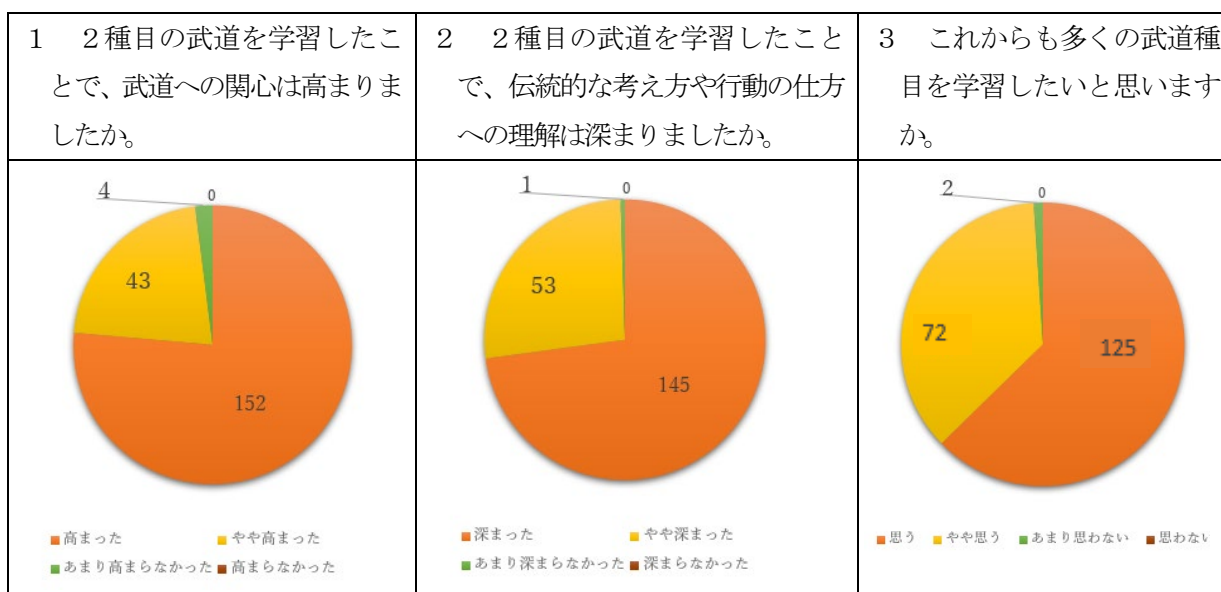
なぎなたの特性や成り立ち、安全面の配慮について説明を受けた後に、中段の構えから「面」や「すね」等の攻撃に関する動きを学習した。初めてなぎなたを握る生徒が多く、楽しそうに活動をしていた。



【ペアによる攻防の練習】

ペアによる「攻防の形」を練習することで、なぎなたの技の特性を十分に味わうことができた。また、進退動作や礼法など、柔道との共通点や違いを学び、武道に関する関心を高めることができた。

●生徒の意識、感想、変容など（199名実施）



●成果と課題

- 武道の学習は、礼法など多くの共通点があり、生徒が理解を深めることに有効であった。指導後のアンケートにおいては、「柔道」と「なぎなた」とともに興味や関心を持つ生徒が多かった。
- 「なぎなた」の授業においては、外部指導者の存在が大変重要である。専門性が高く、授業経験のある教員が少ない。今後、更に教員の研修を進めつつ、外部指導者との役割分担や連携体制を構築していくことも必要である。
- 「これからも多くの武道種目を学習したい」と答えた生徒が9割を超えているが、実際に他の武道領域を行うためには、その時間数の確保や外部指導者との調整など多くの課題がある。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

なぎなた・剣道 複数の種目から武道の関心・意欲を高める体育 教員と外部指導者が連携した授業実践	日之影町立日之影中学校（宮崎県） 電話番号 0982-72-7539 メールアドレス 4817ja@miyazaki-c.ed.jp
--	--

●実践研究のねらい

- 2種目の武道を通して、礼節を重んじる伝統的な考えをはじめとする、武道の伝統文化への理解を深め、武道に対する関心・意欲を高める。
- 外部指導者のもつ専門的な知識・技能を活用し、武道を専門としない保健体育担当の指導力向上、外部指導者の専門的かつ細やかな支援で生徒の知識・技能を高める。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（1学級29名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
種目	なぎなた			剣道					
学習の流れ	オリエンテーション	導入（あいさつ・伝統的な行動の仕方・健康観察・本時の学習の見通し）							
		準備運動							
		基本動作の学習	基本動作の学習	防具の着装					
				基本動作の学習					
		打ち返しの学習	対人技能の学習	連続技の学習					
				対人技能の学習					
		まとめ（整理運動・本時の振り返り・次時の連絡・あいさつ）							

●指導の工夫

1 複数武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を効果的に指導するための工夫

- 初めのオリエンテーションの時間に、各種目の成り立ちから詳しく説明することで、生徒の意欲・関心を高め、武道に対する意識を高められるよう工夫した。
- 各基本動作にはそれぞれ意味があることを理解させ、動作時には意識して行うように声掛けを常に行った。
- 剣道となぎなたの授業開始時と終了時には、必ず「正座」「黙想」「座礼」を行うとともに、他者と相対する場面でも必ず「立礼」を行うなど、礼法指導を徹底した。
- 各種目の基本動作等を行うときに、剣道となぎなたの共通点や異なる点を見つけるよう声掛けすることで、生徒の意識の向上及び知識・技能の習得向上に努めた。
- 剣道・なぎなたともに、「竹刀」「なぎなた」といった刃物と見立てた道具を使用することから、周囲の状況や道具の「刃」の向きなどを注意して使用するよう指導を行った。
- 相手を思いやる心構えや技の出し方を意識することで、生徒たちが自主的に安全面に気をつけたり、武道を学ぶ意義を理解したりできるように指導を行った。

●授業の様子



【なぎなた：一対多数基本動作】

模範者に向かって、基本的な打突を全員で行う基本動作。掛け声に合わせて全生徒が技や声を揃えて行い、基本動作の確実な習得につなげた。

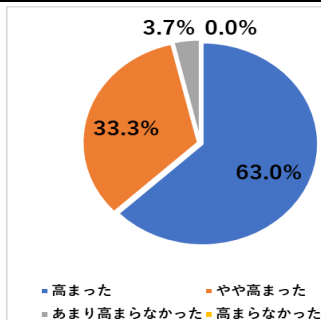


【剣道：模擬刀を用いての学習】

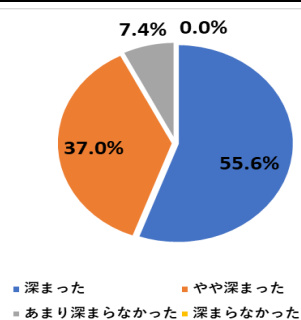
授業の初めに、「模擬刀」に触れ合わせることで、剣道の成り立ちや歴史を知り、剣道に関心を持たせ、授業への意欲を高めた。

●生徒の意識、感想、変容など

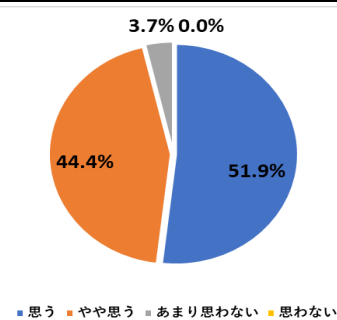
1. 2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



2. 2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



4. 自由意見

- 剣道もなぎなたも相手を思いやる心が大切だと感じた。武道には共通点も多くあり、おもしろいと思った。
- 武道の授業を行って、なぎなた・剣道には正座や礼、相手を敬うことが共通していることがわかった。
- 武道は昔から続いていたものが基になっていて、それが今につながっていると知った。声を出したり、気合いで精神を鍛えられたりするので、武道はいいと思った。後2年、もっと、武道について学びたいと思う。
- 専門の先生は声や動作が違うなと感じた。専門の先生に来て頂いて、私たちは恵まれていると思った。

●成果

- 外部指導者を活用することで、正確な模範を基に、生徒たちが正しい知識や技能を習得することができた。また、授業者の専門的な知識や技能の習得にも繋がり、他学年の授業に反映することができた。継続することで、更なる指導力の向上に努めたい。
- 2種目の武道を履修することで、伝統的な礼法が身に付いた生徒が多いと感じた。初めて武道を経験する生徒が多い中、武道に慣れ親しむことができ、意欲を高めることができた。

●課題

- 武道9時間のうち剣道6時間、なぎなた3時間の履修時間となった。学校行事との関連から、時間の確保に大きな課題がある。外部指導者の方との時間調整にも課題がある。余裕を持って授業計画を作成するべきであると感じた。
- なぎなたを3時間で習得につなげるのは難しいと感じた。3年間を見通した履修計画の作成、隔年で履修種目を決めるなどの対策を行い、武道の知識・技能の習得につなげたい。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

相撲・なぎなた 武道へ対する意欲を高め、武道に積極的に取り組む授業の展開	西都市立穂北中学校（宮崎県） 電話番号 0983-43-3221 メールアドレス 4502ja@miyazaki-c.ed.jp
--	---

●実践研究のねらい

- 本格的な指導により、生徒の武道へ対する意欲を高める。
- 伝統的な行動や、礼儀作法を経験させる。
- 文化や伝統を尊重する観点を生徒にもたせる。

●多様な武道の指導モデル 第2学年（1学級28名）

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	相撲				なぎなた			
学習の流れ	導入（あいさつ・健康観察・本時の学習の見通し）							
	準備運動・前時の復習							
	礼法・蹲踞・四股	運び足・押し・寄り	受け身・調体・試合	東西に分かれての試合	礼法・自然体・上下振り	正面打ちを柄部で受ける 体さばき・振り上げ面	すね打ちの構え・側面打ち	打ち返しの打ち受け 刀部受け・柄部受け
	まとめ（整理運動・振り返り・次時の確認・あいさつ）							

●指導の工夫

- 基本的な指導を重点的に行い、生徒の実態に応じて講師の先生と指導内容の見直しを適宜行う。
- 授業者と講師の先生の模範演技で、生徒のイメージを膨らませる。
- なぎなたの授業時には、怪我防止のため、なぎなたを振る方向や回数を細かく伝え、講師の先生と常に確認を行う。
- 相撲・なぎなたの歴史についても、学習する時間を取り入れる。

●授業の様子



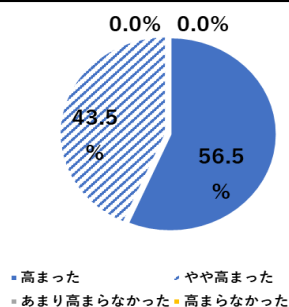
【 相撲の授業風景 】
押しの練習



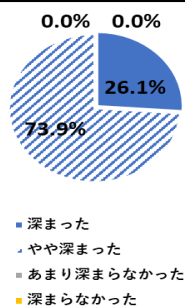
【 なぎなたの授業風景 】
自然体の指導場面

●生徒の意識、感想、変容など

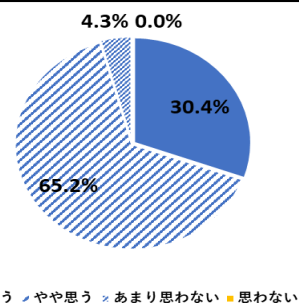
1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



4. 自由意見

- 武道の種目をあまり知らなかったが、自分で体験することにより、さらに多くの武道を学びたいと思った。
- なぎなたという種目があることに驚いた。とてもやりがいがあった。
- 相撲は、思っていたよりも堅苦しさがなく、なぎなたは、1つ1つの動作を丁寧に行うのが楽しかった。

●成果

- 複数種目の武道を、高度な指導の中で体験することにより、生徒の武道への関心が高まった。
- 伝統的な礼儀作法を、学ぶことができ、礼法への意識が高まった。
- 怪我をしない、怪我をさせないという、安全に配慮する意識が高まった。

●課題

- 次年度も、本年度と同様に武道指導を実践するために、外部指導講師の派遣等、外部機関との連携を図る必要がある。

多様な武道等指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

柔道・なぎなた

安全で楽しい柔道・なぎなたの実践を通して、
武道に対する興味・関心を高める授業の展開

南九州市立川辺中学校(鹿児島県)

電話番号 0993-56-1240

メールアドレス kbjt02@minamikyushu-city.hs.plala.or.jp

●実践研究のねらい

- 柔道からなぎなたへとつながる複数種目の武道指導を計画し、共通する礼法や伝統的な考え方、行動の仕方に気付かせ、安全面を重視した段階的な指導によって、それぞれの特性に触れさせ、楽しさを感じる学習を目指す。
- 地域指導者と保健体育科教員が連携して役割分担をしっかりとすることで、専門性を十分に生かし、限られた時間で効果的な学習を目指す。
- 礼法や技能指導を通して、自他を尊重する態度や学習意欲を向上させる心を育てる。

●多様な武道の指導モデル 第1学年(3学級87名)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
種目	柔道										なぎなた					
主な学習活動	オリエンテーション	あいさつ 健康観察 本時の学習の見通し										オリエンテーション	あいさつ 健康観察 準備運動 補助運動 目標の確認 前時の復習			
		準備運動 補助運動 ストレッチ											構え 体さばき			
		基本動作	抑え込みの条件と抑え方・応じ方				固め技の自由練習とごく簡単な試合				技の発表		基本打突			
		受け身	崩し・体さばきと受け身										グループ発表会			
学習のまとめ																

●指導の工夫

- 効果的に指導するための工夫
 - 生徒が見付けたポイントについて、ホワイトボードに提示して整理し、教え合い学習の際に振り返って、他者に分かりやすく伝えられるようにする。
 - 動きをタブレットで撮影することによって、後で自分の動きを映像で確認し、意見やポイントを発表したり、意見を交換したりすることができるようにする。
- 生徒の安全を確保するための工夫
 - 障害物や畳の隙間など場の安全確認、グループの作り方、心理面の指導、段階的な指導(低→高、弱→強等)、間隔など危険がないように努める。
 - 地域指導者と指導の在り方について事前に共通理解を図る。

●授業の様子



【柔道の授業】

受け身の学習において、導入で見本の動きを実際に見た後、タブレットで撮影した映像を再度見て、技のポイントを確認した。



【なぎなたの授業】

地域指導者による模範演技等で所作の美しさを体感。一人一本なぎなたを持ち、基本的な構えや打突について学習した。

●生徒の意識、感想、変容など

1 なぎなたの授業は楽しかったですか。	2 柔道・なぎなたを学習したことで武道への関心は高まりましたか。	3 これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
○ 武道は、体育の学習でもあり、日常的に活用できるところがよい。教わったもので、礼や構えなど、礼儀の基礎も学べたのですごくよかった。（生徒の感想）		

●成果

- 柔道からなぎなたにつなげた学習は、「礼法」や「心構え」など共通する点を見出すことができた。
- 柔道となぎなたを学習することで、接触・非接触的な武道の違いを認識できた。柔道では相手と直接組むことで分かる相手を尊重する態度、なぎなたでは間合いの必要性など、それぞれの特性について学ぶことができた。
- なぎなたでは、地域指導者のテンポの良い技術指導により、生徒がなぎなたを振る楽しさを味わい、そして「残心」の意味や礼儀作法を日常生活で生かすことの大切さを学ぶことができた。

●課題

- 教員の異動により、現在の指導計画がそのまま継続できるか難しい時もあるため、誰もが計画・指導できる単元計画を立てていくことが必要である。また見直しも随時必要である。
- 生徒に個別指導ができるよう、地域指導者と連携し役割分担等の打ち合わせを確実に行う。
- 冬場の武道指導は、特に足下が冷えるために実施時期を考慮する必要がある（安全面）。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

弓道・柔道	稚内市立潮見が丘中学校（北海道） 電話番号 0162-34-3315 メールアドレス siocyu@apricot.ocn.ne.jp
-------	---

●実践研究のねらい

- 対人の柔道と対的の弓道において共通する伝統的な行動の仕方や姿勢の保持などについて理解させる。
- 外部指導者を効果的に活用し、安全で質の高い「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を実践する。
- 1人1台端末の効果的な活用により、武道に対する興味・関心の高め、指導事項に係る知識及び技能の習得を図る。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（3学級72名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
種目	弓道		柔道								
学習の流れ	武道の歴史 種目	礼儀作法	柔道の歴史	道場づくり（畳を敷く）							
				導入（挨拶・礼儀作法・健康観察・本時の目標）							
				準備運動							
	武道のなかの作法 礼儀作法	射法（射法八節）	柔道着の着脱	準備運動・基本動作・受け身の学習							
				固め技の学習					投げ技の学習		団体戦（固め技）
				まとめ（整理運動・振り返り・次時の連絡・挨拶）							
道場撤去（畳を片付ける）											

●指導の工夫

- 1 武道に共通する伝統的な考え方や行動の仕方等についての理解を促す工夫
 - 柔道と弓道の共通点や相違点を考えさせるため、武道の歴史や考え方等について理解を深める学習における学習課題の工夫や、他者とのかわりの中で考えを広げ深める活動の場等を設定した。
 - 1人1台端末を効果的に活用し、弓道の射法や柔道の技など映像資料の視聴及び自身の動きとの比較による課題の発見に取り組んだ。
- 2 効果的な指導に向けた外部指導者との連携
 - 外部指導者と連携し、発達の段階や安全面等に配慮した段階的な指導計画の作成及び役割を明確にした指導を実施した。
 - 外部指導者による礼法や技のポイントなどの説明及び課題解決に向けた生徒への助言等、専門的な指導の場を設定した。

●授業の様子



【「射法」の学習（弓道）】

1人1台端末を活用し、「射法八節」の意味や動作を確認



【固め技の学習（柔道）】

発達の段階や安全面に配慮した段階的な指導計画による固め技の指導

●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2. 2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
■高まった ■やや高まった ■あまり高まらなかった ■高まらなかった	■深まった ■やや深まった ■あまり深まらなかった ■深まらなかった	■思う ■やや思う ■あまり思わない ■思わない
4. 自由意見		
○ 武道の中で弓道だけが対人ではないことや、柔道との共通点があることを知ることができました。 ○ 武道は日本独自のもので、今でも受け継がれている礼節を大切にしたいと思いました。 ○ 武道で学んだ礼儀や相手を思いやることなどを、日常生活でも生かしていきたい。		

●成果

- 1人1台端末を活用して、弓道における「射法八節」や柔道における技を視聴させ、動作や技等の美しさを実感させ、具体的なイメージをもたせたことにより、生徒は主体的に活動したり、仲間と課題解決を図ったりするとともに、単元後のアンケートでは約96%の生徒が武道に対する関心を高めることができた。
- 外部指導者と連携し、柔道と弓道の共通点を実感させる指導や、生徒に恐怖感を抱かせない安全面に配慮した指導を行ったことにより、単元後のアンケートでは、約96%の生徒が伝統的な考え方や行動の仕方への理解を深めるとともに、技の習得を通して、武道に対する楽しさを実感していた。

●課題

- 弓道を実施する場合、会場や道具の確保のほか、安全に行うために外部指導者を講師として招聘する必要があることから、教育委員会や弓道連盟との連携を強化する必要がある。
- 第1学年は、初めて武道を学習することから、安全面に配慮するとともに、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」のバランスや、2年間のまとまりを考え、発達の段階を踏まえた指導計画に改善する必要がある。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

柔道・弓道	稚内市立稚内南中学校（北海道） 電話番号 0162-23-4128 メールアドレス minami.jhs@shore.ocn.ne.jp
----------------	--

●実践研究のねらい

- 複数の武道の学習を通して、共通点及び相違点に気付くことで、武道の伝統的な考え方等について理解を深めさせる。
- 複数の武道の経験を通して、礼節や他者を思いやる心の育成を図るとともに、日常生活における他者とのかかわりで生かせるようにする。
- 地域の特色を生かした持続可能な武道として、地域の外部指導者を活用し、専門的な指導を通して武道の特性や魅力を実感させる。

●多様な武道の指導モデル 第2学年（2学級78名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
種目	オリエンテーション（柔道・弓道）	柔道									弓道			
学習の流れ		導入（あいさつ・礼儀作法・安全上の注意・本時のねらいの確認）												
		準備運動									基本武道の歴史の説明	準備運動基本動作		弓道の歴史、学習のまとめ
		礼法・基本動作・組み方の学習										（射法八節の学習（的の前練習））		
		受け身の学習				受け身の学習				学習のまとめ				
						抑え込み技の学習								
		抑え込み技の学習				投げ技の学習				（ゴム弓・素引き）				
		まとめ（本時の振り返り・次時の予告・あいさつ）												

●指導の工夫

- 学習形態の工夫
 - 1人1台端末を活用し、互いの技の動画を撮影し、技術的なポイントについて考え、仲間と伝え合うなど、効果的なペア学習やグループ学習を設定した。
 - 弓道における実技時間の確保に向け、複数の教員及び外部指導者による少人数指導を実施した。
- 指導計画の工夫
 - それぞれの武道の成り立ちや歴史、特徴等についての理解を深め、共通点や相違点に気付かせる活動の場を設定した。
 - 学習の成果を実感し、次の目標をもたせる学習の振り返りの場面を設定した。
- 外部指導者との連携
 - 単元の目標の達成に向けて、指導内容や指導方法の共通理解を図った。

●授業の様子



【生徒同士の学び合い】

指導を受けた生徒が次の生徒に教わったことを伝えたり、質問に答えたりする学び合い



【安全面に配慮した指導体制の工夫】

外部指導者による「射法八節」及び安全に矢を射るための個別指導

●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2. 2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
■高まった ■やや高まった ■あまり高まらなかった ■高まらなかった	■深まった ■やや深まった ■あまり深まらなかった ■深まらなかった	■思う ■やや思う ■あまり思わない ■思わない
4. 自由意見		
○ 色々な武道に挑戦したいと思っていたので、弓道の実技はすごく貴重な経験になりました。 ○ 柔道と弓道では、伝統的な考え方などで共通点もあるが、柔道は自分を守るための技術が多く、弓道は心を落ち着かせるための所作があるなど、それぞれ特徴があることが分かりました。		

●成果

- 授業形態を工夫し、伝統的な考え方の共通点や、礼法について柔道と弓道では異なる意味をもつことなどを理解させる授業を展開したことにより、生徒は武道に関する考え方を広げるとともに、単元後のアンケートでは、90%以上の生徒が伝統的な考え方や行動の仕方への理解を深める結果となった。
- 外部指導者との連携した授業を展開したことにより、柔道においては技を効果的にかけるために崩しや体さばきなどの過程が重要であること、弓道においては的に矢を射るための過程が重要であることなど、生徒は武道の特徴について理解を深めることができた。また、単元後のアンケートでは90%以上の生徒が武道への関心を高め、80%以上の生徒が多くの武道種目を学習したいと回答した。
- 生徒は、日常生活の中で経験できないことに取り組んだことにより、運動に親しむ態度を高め、武道を生涯スポーツとして捉えることができた。

●課題

- 単元の目標の達成に向けて、指導のねらいを明確にし、担当教諭と外部指導者が同じ指導方針の下で授業を実施する必要がある。
- 武道授業の一層の充実に向けて、地域の協会と連携し、教員の研修機会を増やす必要がある。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

柔道・弓道 外部講師や地域施設を活用して「できる」「楽しい」を実感できる武道の実践例	板倉町立板倉中学校（群馬県） 電話番号 0276-82-1148 メールアドレス itachuu@cc9.ne.jp
--	---

●実践研究のねらい

- 地域の施設を活かした弓道指導の充実を図り、生涯にわたって運動に親しむ意欲を高める。
- 地域人材を講師として活用し、「できる」「楽しい」を実感できるよう授業毎と単元全体を通してのPDCAにより、授業改善していく。
- 生徒の健康・安全を確保するため、外部講師と協働したチェック体制を構築するとともに、その情報を生徒にもフィードバックし、健康安全への意識を高めていく。
- タブレットを活用し、運動時間を確保するため、授業の振り返りを授業時間外に行ったり、技能の向上を動画や画像、振りかえりの記録などで見取り、成長を実感したりできるようにする。
- 伝統的な考え方や作法を学ぶことで伝統的な行動の仕方を守ることが自分を自分で律する克己の心に触れることにつながることを体験的に理解できるようにする。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（3学級103名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
種目	弓 道											柔 道					
学習の流れ	オリエンテーション （道具・危険防止・礼儀作法 について学習後、 演武見学）	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）										オリエンテーション （特性や歴史・礼儀・ 柔道着の着方等）	導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、 健康観察、本時の学習の見通し）				
		準備運動、伝統的な行動の仕方（射法八節等）											準備運動		準備運動、受け身		
		唱和・ひも引き		ゴム引き・素引き													
		班別学習（3班）		班別学習（2班）													
		ゴム引き	素引き	道具Ⅰ	体配	道具Ⅱ	的前行射Ⅰ	量的	的前行射Ⅱ	量的							

●指導の工夫

1 一人一人が「できる」「楽しい」を実感できる個別最適な授業の工夫

- 地域の弓道場と学校体育館が隣接する立地を生かし、効率的で効果的な指導ができるように指導方法を工夫する。
- 性別、体格、筋力等、一人一人にあった道具を用意するとともに、タブレットで動画や資料を見ながら、自宅でも練習できるようにする。
- 専門的な知識や技能を有した多数の地域人材の協力を得ることにより、効果的な指導を個別に行うことができるようにする。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 弓道では、特に矢をつがえた後の安全に関わる事項を確認しながら学習を進めるとともに、常に全体を視野に入れ、安全確認をする役を配置し、授業後は外部講師を含めた指導者全体で、より安全な方法を模索し、共通理解する時間を設ける。
- 柔道では、3密を避けることが難しいため、今年度は時期を後半にし、組み合う立ち技等は次年度の計画に変更する。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、弓道の道具はこまめに消毒し、3密を避けマスクの着用と授業前後の手指消毒を徹底する。

●授業の様子



【体育館で畳的への行射】

一人一人へのきめ細かな個別指導やサポートにより、全員が行射できた。生徒はその場で質問したり、改善点を指摘してもらったりして、1つ1つ課題を解決していくことができた。

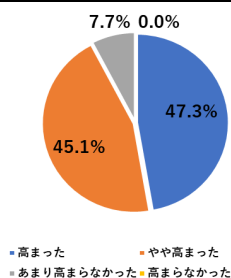


【弓道場で藁的への行射】

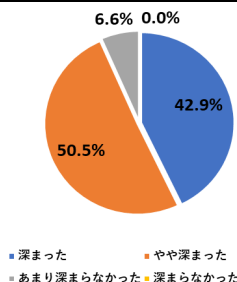
最初に行射が怖いと感じていた生徒も多かったが、弓道場という異空間で自分の気持ちを落ち着かせ、集中して放った矢が的に向かって飛んでいく爽快感を味わうことができ笑顔が見られた。

●生徒の意識、感想、変容など

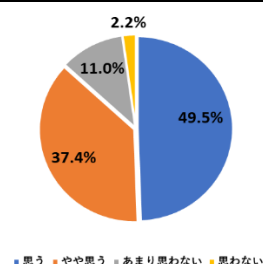
(1) 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



(2) 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



(3) これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



4. 自由意見

○弓道の授業を通して、技術や知識の面だけでなく、根気強くなるなど、精神的にも成長を実感できた。
 ○最初は、少し怖かったけど、やっていくうちに怖さが薄れて楽しくなった。もう少し、やってみたかった。
 ○柔道の受け身のときは倒れてもそんなに痛くなくて驚いた。固め技では、組み方一つで全く身動きがとれないのが興味深かった。
 ○武道をやって、心が落ち着き、集中力がついたと思った。この経験を生かしてこれから生活していきたい。
 ○柔道や弓道はやったことがなかったのでワクワクしていた。また、弓道はアニメにもよく出てきていて、やってみたいと思っていたので実際にできて嬉しかった。他の武道もやってみたい。
 ○動作1つ1つに意味があり、引き継がれてきた歴史を感じられて良かった。
 ○日本の武道は、他のスポーツと違い独特で強い関心を持った。2年生でも頑張りたい。
 ○武道は、作法などしっかりあってカッコいいし、体格に関係なくできるのも良いと思った。

●成果

○多くの外部講師の協力により、経験者0から始めた弓道は、全員が行射することができ、「できる」「楽しい」を実感することができた。
 ○学校に隣接する施設を活用したことで学習内容の幅が広がり、生涯スポーツに対する関心・意欲も高めることができた。（本単元終了後、放課後の弓道教室に通い始める生徒も出てきた。）
 ○3密を避けて行えるので、柔道の実施が難しい状況でも感染防止策を講じることで弓道の授業を計画通り行うことができた。

●課題

○1クラス約35名が、弓道で最大限活動するためには、安全確保のため、多くの指導者が必要になる。
 ○体育館を使い、内容によっては多数の道具を搬入しなければならないため、他学年との調整が必要になる。
 合わせて、外部講師との都合も合わせなければならないので計画や準備に時間がかかる。
 ○外部講師との打合せの時間捻出が難しい。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

柔道・弓道 武道に共通した精神や礼法を理解するとともに武道を楽しむ態度を養う授業の展開	三好市立池田中学校（徳島県） 電話番号 0883-72-2140 メールアドレス ikeda_jhs@g.tokushima-ec.ed.jp
---	--

●実践研究のねらい

- 柔道と弓道の双方に通ずる精神や礼儀作法、また違いに気づかせるとともに、日本の伝統的な文化を理解させる。
- 本校の部活動にもある柔道・弓道の学習を通して、武道に対する関心・意欲を高めるとともに、日頃から相手を尊重し思いやりを大切にする態度を養う。
- 外部指導者と連携し、指導内容の精選を行った上で役割分担をすることで、体育科教員の指導力の向上を図る。また、安全を確保できる指導体制の確立を目指す。

●多様な武道の指導モデル 第2学年（2学級72名）

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	柔道						弓道	
学習の流れ	導入（あいさつ・本時の流れの確認）						オリエンテーション・歴史	
	オリエンテーション	基本動作の学習 受け身の学習				（投げ技↓学習のまとめ 技・試合）	安全講習 道着・道具説明 有段者模範演技	
		固め技の学習		投げ技の学習			体験学習 ・弓の構え方 ・入場の仕方 ・かけの着脱	
	道着の着脱							
	伝統的礼法							
整理（本時のまとめ・次時の連絡・あいさつ）							まとめ	

●指導の工夫

1 複数武道を効果的に指導するための工夫

- 外部指導者との事前打ち合わせを行い、生徒の実態について共通理解を図り、指導方法や指導内容を検討した。
- 武道未経験者がほとんどであるため、技の合理性や気をつける点などを生徒が理解しやすいよう、外部指導者に師範してもらう場面を多く設定した。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 武道の成り立ちと安全な運動の行い方について、外部指導者から説明してもらい、武道に取り組む態度について考えさせ、危険な行動をとらないよう指導した。
- 安全を確保できる十分なスペースがあるか常に確認して活動するよう指導した。
- 柔道では、「受」と「取」の役割を理解し協力することが必要であること、弓道では、弓や矢の向きや扱いを十分に気をつける必要があることを指導し、気をつけさせた。
- 感染対策として、マスクを着用した上でを行い、柔道の寝技の際には顔の向きを気をつけさせた。

●授業の様子



【 柔道の授業：固め技の練習 】
首や肩の抑え方のポイントやその崩し方を学び、技の理解を深め、柔道の面白さを味わった。



【 弓道の授業：射法八節の体験 】
外部指導者に加え、有段者である生徒が師範となり、安全に配慮しながら基本動作を学んだ。

●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった	■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった	■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない
4. 自由意見		
○武道を体験する前はあまり興味がなかったが、やってみて楽しかった。日本の伝統的な考え方の素敵さに気づくことができて良かった。 ○武道の学習を通して、相手と競い合いながらも、相手を敬う気持ちや感謝する気持ちを忘れてはいけないとても素晴らしいスポーツだと感じた。 ○礼儀を大切にするというのは、他のスポーツでも共通しているところもあると思う。日常生活でも礼儀を大切にしたい。		

●成果

○ 柔道や弓道の歴史を学んだ上で実技に入ることによって、礼儀作法の意義や日本が大切にしてきた伝統的な考え方などの理解が深まり、武道の学習に意欲的に取り組もうとする生徒が多かった。 ○ 柔道に恐怖心をもっていたり、弓道を安易な競技だと考えていたりする生徒がいたが、授業を通して礼儀を重んじる武道の奥深さやそれぞれの種目の楽しさを学び、武道への興味・関心が高まった生徒が多かった。 ○ 外部指導者が主に技の師範や専門的な指導を担当し、体育科教員が安全の確保や個に応じた指導や支援をするよう役割を分担したことで、生徒が武道に楽しみながら取り組むことができた。

●課題

○ 歴史や礼儀作法に時間をかけすぎたことで実践が少なくなってしまったため、時間配分を考え直し、限られた時間の中で実践中心の授業を展開できるよう、指導計画の修正が必要である。 ○ 弓道の授業は初めて実施したが、会場作りや道具の運搬などの事前準備や片付けに手間と時間がかかったため、もう少し簡易的な方法でできる授業展開を検討する必要がある。 ○ 寒い時期の実施となったため、もう少しあたたかい時期に実施できるよう年間計画を修正する。

武道授業における複数種目指導 実践研究（事例報告）

合気道・剣道 合気道・剣道に親しみ、基本動作や基本の技を身につけ、相手を尊重する態度を育む。	最上町立最上中学校（山形県） 電話番号 0233-43-4115 メールアドレス mogami.j@vega.ne.jp
--	---

●実践研究のねらい

- 中学校で初めて学習する内容であるため、合気道と剣道を合わせた単元計画を作成し、それぞれの基本動作と基本となる技を生徒同士がアドバイスし合いながら練習させ、習得につなげる。
- 外部指導者の活用について、限られた単元計画内における外部指導者からの指導内容を精選するとともに、安全を確保した指導体制の構築を目指す。

●複数種目指導モデル 第1、2学年（5学級117名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
種目	オリエンテーション	合気道				剣道						
学習の流れ		導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の目標）										学習のまとめ
		準備運動										
		基本動作の学習		対人的技能の学習		ルールや特性についての学習		攻撃の仕方の学習 ①	攻撃の仕方の学習 ②	攻撃の仕方の学習 ③		
		受けの学習				基本動作の学習						
		動画による振り返り		動画による相互助言		足さばきの学習						

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 指導内容の精選
 - ・ 外部指導者と十分な打ち合わせのもと、基本動作や基本の技を限定して慣れ親しませる。
 - ・ 振り返りを確実にを行い、一つの動作でも「できるようになった」という達成感を味わわせる。
- ICT等の視聴覚教材の活用
 - ・ オリエンテーションでは、動画を通して武道の特性などに気づかせる学習を行う。
 - ・ 生徒同士で動画を撮影させ、自分の動きを見て振り返ることができるようにする。

2 武道に臨む心構えを大切にするための工夫

- 生徒の安全の確保
 - ・ 外部指導者より、安全な運動の仕方についての説明を受ける機会を設ける。
 - ・ 合気道については、柔道場の畳の上で行う。剣道については、今年度は教員が「受け」を担う。
- 礼儀や伝統的な行動の仕方の指導
 - ・ 武道には技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的な考え方があることに気づかせる。
 - ・ 相手が変わるごとに正しい礼をするなど、相手を尊重する態度を大切にさせる。

●授業の様子



【 合気道 】講師による技のかけ方の指導



【 合気道 】タブレットで動画を撮影

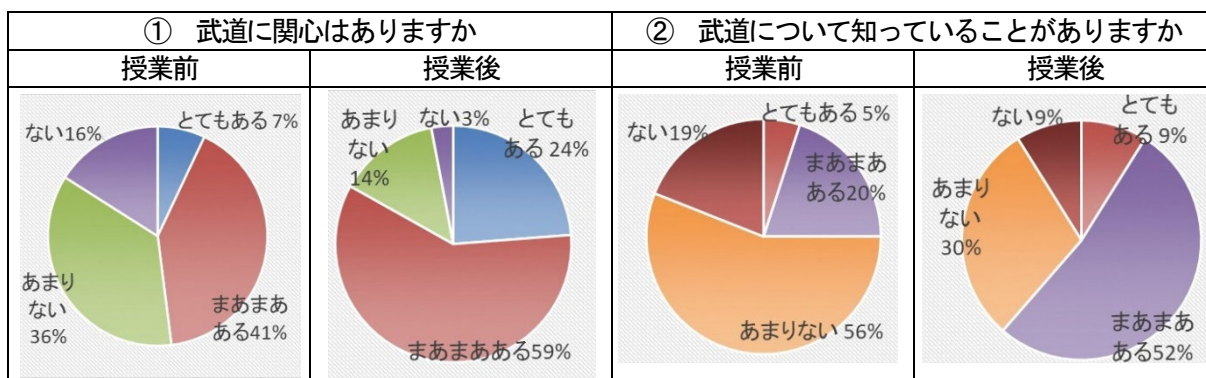


【 剣道 】竹刀の振り方の基本稽古



【 剣道 】講師を相手にメンの練習

●生徒の意識、感想、変容など



<生徒の感想>

- ・普段やらないことに挑戦してみると、楽しくて、もっと知識や技能を身につけたいと思いました。
- ・今回学んだこと以外にも、どんな技があるのか知りたいし、練習してみたいと思いました。
- ・合気道でも剣道でも、相手への感謝の気持ちをもって、礼を尽くすことの大切さを学びました。
- ・合気道では、技をかける時にたくさんの手順があって、難しかったです。
- ・剣道では、面を打つときに大きく踏み出して竹刀をまっすぐに振り落とす技が身につきました。

●成果（○）と課題（△）

- 外部指導者による専門的な指導により、学習意欲が高い生徒が非常に多かった。
- 武道に対する関心が高まった生徒や知識が増えた生徒が非常に多かった。
- 2つの武道を経験することで、日本特有の武道についての認識が深まった生徒が多かった。
- △ 基本的な技の習熟や多様な技への挑戦という点では、時数が少なく不十分な面も見られた。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校事例報告

合気道・剣道	笠間市立友部中学校 （茨城県） 電話番号 0296-77-0073 メールアドレス tomobej@ed.city.kasama.ibaraki.jp
-----------------	---

●実践研究のねらい

- 剣道と合気道の両方を学習することで、体力の向上を図る。同じ動作を繰り返し稽古するという共通点から、「取」の技の正確性や速度の向上、「受」の対応力の向上など、敏捷性・巧緻性・調整力・持久力などを高めることができる。
- 合気道においては外部指導者を活用し、剣道においては経験者（有段者）の教員が担当し、より専門性の高い指導を行う。それにより、深く武道の特性に触れるとともに、習熟度に応じて練習方法を選択したり、技能の細かなポイントを伝達したりするなど、技の完成度を高めることができる。

●多様な武道の指導モデル 第2学年（5学級185名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種目	合気道						剣道					
学習の流れ	①オリエンテーション ・約束事の確認 ・礼儀作法の確認 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①オリエンテーション ・約束事の確認 ・剣道の歴史 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認	①導入 ・課題の確認
	②準備運動 ・手首鍛錬法	②準備運動 ・手首鍛錬法	②準備運動 ・手首鍛錬法	②準備運動 ・手首鍛錬法	②基本動作の確認 ・礼法（立礼） ・自然体 ・提刀、帯刀、抜刀 ・足さばき	②準備運動	②準備運動	②準備運動	②準備運動	②準備運動	②準備運動	②準備運動
	③受け身の学習 ・前受け身 ・後ろ受け身	③受け身の練習 ・前受け身 ・後ろ受け身	③受け身の練習 ・前受け身 ・後ろ受け身	③受け身の練習 ・前受け身 ・後ろ受け身	④技の練習3 ・片手取第一教	④技の練習3 ・片手取第一教	④技の練習3 ・片手取第一教	④技の練習3 ・片手取第一教	④素振りの学習 ・上下素振り ・三挙動の素振り ・四挙動の素振り	④素振りの学習 ・上下素振り ・三挙動の素振り ・四挙動の素振り	④素振りの学習 ・上下素振り ・三挙動の素振り ・四挙動の素振り	④素振りの学習 ・上下素振り ・三挙動の素振り ・四挙動の素振り
	④技の学習1 ・体の変更	④技の練習4 ・突き小手返し	④技の練習4 ・突き小手返し	④技の練習4 ・突き小手返し	④技の練習5 ・片手取四方投げ	④技の練習5 ・片手取四方投げ	④技の練習5 ・片手取四方投げ	④技の練習5 ・片手取四方投げ	④正面打ちの学習 ・三挙動正面打ち ・正面打ち	④正面打ちの学習 ・三挙動正面打ち ・正面打ち	④正面打ちの学習 ・三挙動正面打ち ・正面打ち	④正面打ちの学習 ・三挙動正面打ち ・正面打ち
	⑤技の学習2 ・正面打ち入身投げ	⑤技の練習5 ・片手取四方投げ	⑤技の練習5 ・片手取四方投げ	⑤技の練習5 ・片手取四方投げ	⑤発表会（演武）	⑤発表会（演武）	⑤発表会（演武）	⑤発表会（演武）	⑤早素振りの学習	⑤早素振りの学習	⑤早素振りの学習	⑤早素振りの学習
	⑥振り返り	⑥振り返り	⑥振り返り	⑥振り返り	⑥振り返り	⑥振り返り	⑥振り返り	⑥振り返り	⑥相互早素振りの学習	⑥相互早素振りの学習	⑥相互早素振りの学習	⑥相互早素振りの学習

●指導の工夫

- 効果的に指導するための工夫
 - 共通指導事項の精選
合気道と剣道の共通点（心構え・礼法・足さばきなど）を精選し、反復した指導をすることで武道の特性により深く触れるとともに、理解を深めることができる。
 - 外部指導者の活用
合気道において外部指導者を招き、外部指導者が指導者となることで、安全性を高めるだけでなく、より専門性の高い指導をすることができる。
 - 課題解決学習の推進
合気道・剣道において、二人組で学習カード等を参考にしながら、技のポイントなどを互いに確認する課題解決学習の場面を取り入れ、さらに、理解を深めることができる。
- 生徒の安全を確保するための工夫
 - 安全な武道の行い方の理解
オリエンテーションで外部指導者にこれまでの実態を踏まえて、武道における危険性を説明していただく場面を設けることで、生徒も教員も意識しながら取り組むことができる。

●授業の様子



【 合気道：技の学習 】

外部指導者が指導に当たることで、より細かな技能のポイントを押さえながら授業に取り組むことができた。



【 剣道：対人練習 】

ペアで学習することにより、互いにポイントや修正点を伝え合うなど、生徒が主体的に学習する様子が見られた。

●生徒の意識、感想、変容など

1 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3 これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった	■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった	■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない
4. 自由意見		
○ 素晴らしい経験をさせていただきました。武道がより身近に感じられるようになりました。 ○ 一つ一つの所作の大切さを学ぶことができました。 ○ 武道は、生涯に渡り学んでいけるものなので、これからも続けたいと思います。		

●成果

○ 今回の授業をとおして、武道の楽しさを多くの生徒が感じる事ができた。また、合気道と剣道の2種目を学習したことで、礼法や相手に敬意を払う武道の特性をより深く理解することができた。 ○ 2人組で学習カードを参考にしながら、技のポイントなどを互いに確認する課題解決学習の場面を取り入れたことで、互いにポイントや修正点を伝え合うなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができた。今後も生徒が主体的に武道の学習に取り組めるような工夫をしていきたい。 ○ 合気道の指導においては、昨年度と同様にT1を教員が行い、T2・T3を外部指導者が行った。それにより、外部指導者が積極的に支援を必要とする生徒に声をかけることができ、生徒がより身近に指導者と接することができた。また、教員としても自らがT1として授業を行うことで、技のポイントや安全面での配慮事項などをより理解することができ、専門性を磨くことができた。

●課題

○ 合気道の指導を多くの学校に広めていくためには、講師を招かなくても教員だけで授業を実施できるように、教員が外部指導者の協力を得ながら、さらなる研修と経験を積んでいく必要がある。そして、それが外部指導者の願いでもある。 ○ 昨年度より、コロナウイルス感染症の影響のため、時数を6時間ずつと設定した。昨年度の反省を生かし第2学年では、最初の3時間を昨年度の履修内容の確認に充て、4時間目からは新しい技の習得に入った。新しい技の習得はできていたが、完成度は低かった。余裕をもって8時間にして、課題解決学習の場面を多くすることで習熟度を高められるように設定してもよかったと考える。

多様な武道等指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

柔道・合気道 柔道から合気道につなげることで、段階的に技能を習得し、安全に武道の特性を学ぶ授業の展開	高島市立湖西中学校（滋賀県） 電話番号 0740-25-2271 メールアドレス kosei-jhs@scl.city.takashima.shiga.jp
--	---

●実践研究のねらい

- 中学校での学習が一般的である柔道から合気道につなげることにより、慣れない合気道への不安を軽減し、異なる武道の学習を通して礼法や基本動作の共通点、取と受の明確な約束の中での攻防の展開などの効果的な学習を図る。
- 単元計画作成段階から外部指導者と連携することにより、学習の流れや専門的な指導力など、本校職員の指導力向上を目指す。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（3学級79名）、第2学年（3学級98名）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種目		柔道									合気道		
学 習 の 流 れ	導入（あいさつ、健康観察、本時のめあてと流れの確認）												
	柔道着の着方	知識の復習テスト		準備運動・受け身						準備運動	準備運動・受け身		
	柔道の歴史と礼法	準備運動	準備運動	講師による受け身の指導（受け身）	受け身の復習	体落としの学習	講師による指導（膝車と体落とし）	膝車と体落としの復習	ペアで技の練習	講師による演武	基本動作の学習	基本動作の学習	
									基本動作の学習				
	柔道着の片付け方	受け身の学習	受け身の復習		膝車の学習			発表する技の選択	発表（動画の撮影）	受け身の学習	対人的技能の学習	対人的技能の学習	
	整理（本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）												

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 外部指導者による指導と授業のつながり

事前の学習→外部指導者による指導→復習という流れで単元を構成することにより、外部指導者による指導の時間の充実を図る。
- 外部指導者との事前の打ち合わせ

単元計画の作成段階から外部指導者と連携することにより、互いに単元の流れを理解した授業の展開を図る。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 単元を通した受け身の学習

柔道・合気道を通して毎時間受け身の練習を行う。その中で、座位から転がる→仰向けの状態で畳を叩く→座位からの受け身→中腰姿勢からの受け身→立位からの受け身と段階的に練習し、安全に受け身を習得できるようにする。
- 安全な運動の行い方の理解

オリエンテーションや授業の導入で、受け身や技を動画で確認し、より具体的に安全のポイントを理解できるようにする。また、外部指導者から受け身のポイントや練習時に気を付けるべきポイントの説明を受ける場を設ける。

●授業の様子



【柔道：受け身から投げの学習】

講師の実演や全体指導からの個別指導により、十分に受け身の学習をすることができ、安全な練習の中で基本動作や技の理解を深めることができた。



【合気道：対人的技能の学習】

柔道の学習とつなげることにより技を受けることへの恐怖心が軽減されており、生徒が積極的な姿勢で学習に取り組むことができた。

●生徒の意識、感想、変容など

1 2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2 2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3 これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
■高まった ■やや高まった ■あまり高まらなかった ■高まらなかった	■深まった ■やや深まった ■あまり深まらなかった ■深まらなかった	■そう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

●成果と課題

- 外部指導者の指導を受け、生徒から「わかりやすかった」「イメージがわいた」という意見が多く得られた。事前に十分な打ち合わせをすることでスムーズに授業を展開することもできるので、外部指導者を活用した専門的な指導は効果的であると感じた。
- 合気道は、受け身が「たたく」よりも「転がる」ことが多く、「痛い・怖い」という思いを感じる場面が少なかった。そのため、柔道よりもより積極的に学習に取り組んでいる様子が見られた。合気道から柔道につなげることができれば、受け身に対するマイナスなイメージを感じさせることがなく、「取と受が互いに相手に合やす」という動きも習得でき、より安全に効果的な指導ができると感じた。
- 講師に来てもらう日の授業を3クラスが1時間ずつ3日に分けて受けるという方法をとった結果、着替え等に時間がかかり、1回の授業で20分程度しか活動時間を用意できなかった。生徒の思いも教職員・外部指導者の思いも「あともう少し時間が欲しかった」という終わり方になった。今後、武道で外部指導者を依頼する場合、1クラスがその日のうちに連続で指導を受ける方が効果的であると感じた。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

合気道・剣道 取り・受けの約束で行う合気道から剣道につなげることで、攻防について段階的に学ぶ授業の展開	延岡市立南浦中学校（宮崎県） 電話番号 0982（43）0004 メールアドレス kj4712a@miyazaki-c.ed.jp
---	--

●実践研究のねらい

- 武道で身に付けた礼法や理念は日常生活の中にも、置き換えて考えることができることを理解し、学校生活で実践できるようにする。
- 技の指導では、取りと受けに明確な約束がある合気道から、攻防を展開する剣道へとつなげることで、武道の攻防についての段階的な指導の充実を図る。
- 外部指導者の活用について、効果的な教師との役割分担を模索すること、限られた単元計画内における外部指導者からの指導内容を精選すること、安全を確保した指導体制を確立することを目指す。

●多様な武道の指導モデル 第1・2・3学年（学級13名）

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	合気道	剣道						
学習の流れ	基本の動作の練習	準備運動（基本動作ドリル）						
		導入（あいさつ・本時の学習目標）						
		基本動作の学習						
		礼法・剣道の歴史、竹刀の名称及び持ち方	足さばき、送り足での素振り、すり足による打突	打ち込みと間合い	連続技の練習		連続技の練習、切り返し	成果披露
	約束練習							
	整理（本時の振り返り・次時の連絡・あいさつ）							

●指導の工夫

効果的に指導するための工夫

- 合気道・剣道で共通して学習できる内容の精選
限られた時間内で生徒が達成感を味わうことができるように、授業開始前に、授業の流れを外部指導者と確認し、前時の様子に応じた学習内容を検討し、指導内容の精選を図る。
- 生徒の視覚的な理解を促すための模範演技
有段者による模範演技を見ることで、イメージを掴みやすくする。

生徒の安全を確保するための工夫

- 安全な運動の行い方の理解
剣道具を安全に装着するために、ひもを正しく結ぶことの重要性を、外部指導者より説明を受ける場を設ける。

●授業の様子



【合気道：対人的技能の学習】

学習する対人的技能は2つとし、繰り返し取り組むことで、合気道の技の特性を十分に味わうことができた。



【剣道：基本打ちの学習】

合気道の対人的技能の学習をいかし、取りと受けが互いの動作を理解し合いながら基本打ちの反復練習をすることで、技の理解が深まった。

●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
0.0% 0.0% 46.2% 53.8% 2% 8% ■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった	7.7% 0.0% 46.2% 46.2% 2% 2% ■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった	0.0% 15.4% 38.5% 46.2% 2% 2% ■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない
4. 自由意見 ○ 合気道では、自分の身を守るためや、精神を鍛えることを知った。また相手にはらう敬意の大切さを知った。 ○ 防具のひもをしっかりと結んでいないとけがにつながるので、お互いに確認しながらできた。 ○ 基本の打ち込みが徐々にできるようになって楽しかった。 ○ 指導者の方のアドバイスで、とても楽しく、上手にできて嬉しかった。		

●成果

- 2種目の武道を学習したことで、関心が深められ、相手への敬意や精神を学ぶことができた。
- 専門性の高い指導者のおかげで、充実した授業展開が行われた。

●課題

- 学校行事や、持久走大会等との兼ね合いもあり、合気道は1時間、剣道は7時間と十分な時間の確保ができなかった。
- 時間の確保は、他領域と調整することが必要となるが、各種目に必要な時間数を確保しながらの時間の捻出は課題となる。

武道授業における複数種目指導 実践研究（事例報告）

少林寺拳法・柔道 二人組で行う演武練習で守者・攻者の息を合わせることから、柔道の取り・受けに繋げる授業展開	小松市立板津中学校（石川県） 電話番号 0761-21-8510 メールアドレス tazuj@kec.hakusan.ed.jp
---	---

●実践研究のねらい

- 少林寺拳法においての二人組で行う演武練習をしっかりと行わせることにより、柔道のペア学習を安全に進めることができるようにする。
- 外部指導者からより専門的な知識・技能を学びながら、武道の礼儀・作法・精神にふれる。

●複数種目指導モデル

第1学年（3学級98名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
種目	少林寺拳法								柔道						
学習の流れ	オリエンテーション	導入（結手・合掌礼）本時のめあての確認								導入（左座右起・礼）本時のめあての確認					
		基本の構え・振り子突・蹴上・運歩法・気合								準備運動・受け身（後受け身、横受け身、前廻り受け身）					
		左前中段構→上段逆突→一字構→内受→中段逆突（内受突）				手刀打→上受蹴				固め技の学習		投げ技の学習			
	礼儀・基本	二人組で内受突の練習		タブレットにてグループ練習	演武発表会（内受突）	二人組で上受蹴の練習		演武発表会に向けてグループで練習	（内受突・上受蹴） 武発表会 演	（袈裟固め・横四方固め・縦四方固め）		出足払い・体落とし・膝車・大内刈り・大腰			
		まとめ（本時の振り返り、次時の連絡）合掌礼								まとめ（本時の振り返り、次時の連絡）					

第2学年（3学級87名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
種目	少林寺拳法								柔道						
学習の流れ	オリエンテーション	導入（結手・合掌礼）本時のめあての確認								導入（左座右起・礼）本時のめあての確認					
		基本の構え・振り子突・蹴上・運歩法・気合								準備運動・受け身（後受け身、横受け身、前廻り受け身）					
		「天地拳第一系（単演）」練習		「天地拳第一系（単演）」練習		「天地拳第一系（相対）」練習		「天地拳第一系（相対）」練習		固め技の学習		投げ技の学習			
	タブレットにてグループ練習			演武発表会	タブレットにてグループ練習			演武発表会							
	礼儀・基本	まとめ（本時の振り返り、次時の連絡）合掌礼								まとめ（本時の振り返り、次時の連絡）					

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 外部指導者（少林寺拳法）を派遣していただき、専門的な知識を持って指導にあたり、意欲化に繋げる。
- 互いに教え合う活動を活性化するため「見る視点」を明確にし、映像をみながら話し合う機会を設ける。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 複数の指導者による指導体勢をとり、技の正確性、お互いの距離、動きのタイミングに留意する。
- 柔道では、畳マットとマット（器械運動で使用する）を組み合わせ、二人組で約束練習できる十分なスペースを確保する。

●授業の様子



【二人組で演武練習】

相手との距離を十分取り、安全面に配慮させながら、守者・攻者の技を合わせるために、繰り返し練習する。



【タブレットを利用した技能の確認】

4人グループで、互いに技を見せ合い、気合い・正確性・流れの3つの視点で視覚的に確認し合う。

●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
4. 自由意見 ○外部指導者の方に対してのお礼の手紙の中で、「二人で息を合わせて技をすることは難しかったけれど上手にできたときは、とても嬉しかった。」と「とても楽しくできた」「もっとやってみたい」という感想が多かった。		

●成果

- 2種目行うことで武道でありながらも異なる考え方に触れることで特徴の違いがはっきりして良かった。少林寺拳法では最初は声を出すことが恥ずかしがる様子も見られたが、外部指導者の手厚い指導で徐々に元氣よく楽しそうに練習していた。そのまま柔道へと授業は展開したが、柔道では、「受け身は痛そうで嫌だ」というイメージを持つ生徒が多かったが、「もっと技を覚えたい」とか「固め技が意外とおもしろかった」という感想もあった。事前に少林寺を行っていたおかげでスムーズに柔道に入っていけていたようである。
- 2種目学習したことで、所作の共通の考え方と種目ごとの独特な部分とどちらも触れることができていた。柔道と少林寺に共通する部分として、相手を思いやる気持ちに関して、アンケートでは「相手を思いやりながら練習できましたか」の項目では、ほとんどの生徒が「よくできた」と答えていた少林寺の「結手」と柔道の「座礼」のように所作の理由も含めて比較しながら指導を受けることで、生徒たちの理解は深まっているように感じた。
- 少林寺に関しては、1年次では基本的な技での演武となったが、2年次ではより高度な技に挑戦してみたいという意見が多かった。2年次では内容が1年次と比べるとかなり難しいものであったが、1年生で基礎に取り組んでいたため短い時間でも演武発表まで行うことができた。2種目行うことで武道への関心高まったが、2年間を通じて積み重ねていくことも必要だと感じた。
- 少林寺拳法の授業で、守者・攻者の二人組で技を習得し、演武発表をする形で授業を進めたので、柔道の授業での取り・受けの約束練習にスムーズに入ることができた。
- タブレットを利用することで、見る視点（「気合い」「正確性」「流れ」）が明確になり、お互いにアドバイスしあう姿が見られるようになった。タブレットを使った授業では、「自分の構えや技の修正点が分かって良かった。」とか「アドバイスしやすかった」という感想が多かったので、タブレットを今後も効果的に活用していきたい。
- 外部指導者の丁寧な指導により、より意欲的に武道の授業に取り組めるようになった。

●課題

- 少林寺拳法の授業では、複数の外部指導者の方々に指導して頂いたが、技の教え方が若干違い、生徒が戸惑う場面がみられたので、きめ細やかな打合せが必要だと感じた。
- 柔道の授業においては、場の設定時間の関係で、同学年をなるべく続きの時間帯で時間割を組む必要があったが、様々な制約があつて難しかった。

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

剣道・少林寺拳法	奈良市立 平城中学校（ 奈良県 ） 電話番号 0742-45-9405 メールアドレス heijou-j@naracity.ed.jp
-------------------	---

●実践研究のねらい

- 多様な武道に取り組んだことによる効果と課題を明らかにする。
- 多様な武道の学習形態を継続していくための課題を確認し、次年度以降の取組に生かす。

●多様な武道の指導モデル 第3学年（4学級 143名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
種目	剣道								少林寺拳法	
学習の流れ	竹刀・防具の扱い・礼節等の確認 オリエンテーション	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）								
		構え、足捌き、基本打突の復習	しかけ技 ・二段の技 面一面 ・払い技 払い面	応じ技 ・面抜き胴		学習のまとめ	講師紹介		天地拳第一系の披露	
				自由練習			歴史、理念について		全体練習 （9つの動き 毎）	
							組み手披露			
							基本諸法			
				基本動作の学習						
		ごく簡易な試合		ペアでの学習		グループ発表 柔法の組み手披露				
				整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）						

●指導の工夫

1 複数武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を効果的に指導するための工夫

- 奈良県少林寺拳法連盟から推薦された、指導者との綿密な事前打ち合わせの実施。
 - ・12月、1月の2回事前打ち合わせを実施し、指導内容や指導方法について担当者と打合せを行うことで、スムーズな授業展開へとつながった。
 - ・剣道との「違い」や「共通点」を感じやすい授業構成の工夫。
 - 5名の授業協力者による細やかな指導。
 - ・主な指導（説明、模範演技）と困っている生徒への個別指導等の各役割を5名の授業協力者で分担した指導体制。
 - 指導内容の焦点化（限られた時間（2時間）の中で実施の為。）
 - ・歴史などについての学習は最小限にし、基本と応用のバランスを考えた授業構成。
- 【基本】：基本の諸作法の学習（結手構え、安座（座り方）、合掌礼の方法等）
 瞑目（座禅、鎮魂行の体験）
 突き、けり、受け（上受、内受、下受）の学習
 ペアでの内受突の学習（「相手の攻撃を受ける→攻撃」の一連の流れ）
- 【応用】：天地拳第一系（9つの動きからなる型）の学習（練習）と発表
 →グループ毎に分かれて練習し、最後は各グループで発表した。
- 【その他】：護身術として少林寺拳法
 →授業協力者による柔法の演武披露
- ※1時間目で基本の内容を学習し、2時間目で応用の内容を学習した。

●授業の様子



●生徒の意識、感想、変容など

1. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2. 2種目の武道（又は柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
■高まった ■高まりました ■高まらなかった ■高まらなかった	■深まった ■深まりました ■深まらなかった ■深まらなかった	■思う ■思わない
4. 自由意見		
○普段経験しない動きで難しかったけど、貴重な体験ができた。講師の方が優しく分かりやすく楽しく教えたので楽しめた。 ○初めての経験だったし、楽しくて時間が過ぎるのが早く感じるほどだった。 ○想像と違い、すごく迫力があり楽しい授業だった。少林寺拳法に全く興味がなかったけど、この授業で印象が変わり、興味を持った。		

●成果

○ 事後アンケート結果で「2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。」90.3%、「2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。」91.9%、「これからも多くの武道種目を学習したいか。」71%と肯定的意見が多数を占めた。これは、授業協力者の皆さんのきめ細やかな指導や、やる気を引き出す為の声かけ等の結果であり、体育科教員としても今後の指導にあたって非常に参考になった。 ○ 十分な数（5名）の授業協力者の派遣により、細やかな指導（全体指導＋個別指導）が可能であり、「楽しく、分かりやすい授業」につながった。（生徒アンケート結果より） ○ 実施後のアンケート調査等から、以前から学習している剣道の内容についても再検討した。 ・一つの武道を専門的にやりたいという生徒も一定数（29%）見られ、剣道の楽しさや意義をより実感できる授業内容の検討の為にも、少林寺拳法の指導で参考になる点も多かった。
--

●課題

○ より効果的な指導についての検討 ・例）少林寺拳法の学習時間を増やす（2時間→4時間等）※年間計画の調整等 ○ 授業協力者ありきの授業体制について ・少林寺拳法の授業協力者に協力を得られない場合（主には謝金等に係る予算面）に継続が困難である為、継続して取り組むことに不安を感じる。継続して取り組む場合は、授業実施者を授業協力者から、体育科教員に切り替えていくことが可能なのか等も検討していく必要がある。 ○ 事前準備の効率化 ・事前打ち合わせ（内容、日程調整等）や、県への関係書類の提出等の負担を軽減するための方法などを模索していく。（実施にあたり教員の負担も少なくなかった為。）

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

剣 道・銃剣道 剣道・銃剣道の学習を通して、礼儀や基本動作等の共通点に気づき、さらに学びを深める授業の展開	氷見市立十三中学校（富山県）
---	----------------

●実践研究のねらい

- 剣道を既習してから銃剣道の授業に取り組むことで、武道に共通した礼儀作法や、足さばき、すり足等の基本動作、「気・剣・体」の一致から残心のある有効打突等の共通点に気付かせる。技の指導においては、面・小手・胴への打突をねらう剣道から、突きのみで攻撃する銃剣道に発展させることで、より速い足さばきや体さばきの必要性、相手への敬意を大切にすることを学習させる。
- 外部指導者による指導を通して、多くの方々との触れ合いから社会性を身に付けさせ、今後の生活に生かす。また、ペアやグループ学習を通して、仲間と協力し合い、共に高め合うことのできる人間関係の構築を目指す。

●多様な武道の指導モデル 第1・2・3学年（3学級80名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種目	剣 道										銃 剣 道	
学習の流れ	導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本字の学習の見通し）、準備運動											
	座礼・立礼	リズム剣道（基本動作の反復練習）									・銃剣道の歴史・特性	・足さばき
	防具の付け方・しまい方	足さばき 体さばき	基本打突	目標物を打つ	切り返し	引き技 払い技	応じ技	係り稽古	・礼法 ・構え ・木銃の扱い方 ・模範試合の観戦	・突いた姿勢 ・基本の交差の直突 ・目標物を突く		
	構え方 間合い 素振り	基本打突					試合の進め方	練習試合				

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 既習内容を生かした学習
剣道で身に付けた内容を生かし、銃剣道と共通する礼儀作法や基本動作、有効打突等と関連付けて学習する。また、相違する点について新たに学ぶことで、銃剣道の歴史や特性を理解する。
- ペアやグループ学習を取り入れた学習
友達と協力して活動に取り組み、武道で尊重されている思いやりの精神を大切にする。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 新型コロナウイルス感染予防対策
竹刀、木銃、防具等を使用した後、除菌シートでの消毒やマスクを着用しての活動、体育館の換気等の注意をはらう。
- けが防止のための道具点検や健康観察の徹底
竹刀や木銃、防具等に不備がないか授業前後に確認したり、授業開始時や終了後に生徒の健康観察やけがの有無を確認したりして、安全に留意する。また、道具の正しい扱い方を指導し、危険な動作や禁じ技を行わないよう徹底する。

●授業の様子



【ペアによる話し合い活動】

ペアで係り稽古をした後、互いによかった点や改善点等を伝え合い、課題解決の手だてにしたり新たな課題を見付けたりすることができた。



【新聞を活用した突きの練習】

新聞紙の中心を目がけて小さな穴を打突できるように、安定した姿勢と足さばきで正しい突き技を習得した。

●生徒の意識、感想、変容など

- 礼に始まり礼で終わることや相手を敬う気持ち、素直な心をもつこと等、心の面でも成長することができた。教わったことを、日常でも意識したい。
- 講師の方の試合を観ることで、速い動きや打突の音、声の大きさに迫力があり、鳥肌が立つほど気迫を感じた。きびきびとした動きは、とても美しいと感じた。
- 銃剣道の技は全てが突き技なので、恐怖心に勝たなければ上達できないと感じた。そして優しく突くのではなく、思い切り突いて寸止めをすることで相手も自分も上達できるようになる。そのためにお互いに感謝し合い、礼を大切にしたいと思った。
- 武道の「守・破・離」という言葉を初めて聞き、心を鍛える大切な内容だと感じたので、部活動でも意識したい。
- 講師の方が優しく教えてくださり、安心して取り組むことができた。実際に名前を呼んでいただいたことで、やり易さを感じ、また来年もやりたいと思った。
- 新しい武道を経験し新鮮さを感じることができたので、銃剣道の伝統や面白さを多くの人に伝えていくことが大切だと思った。
- 剣道も銃剣道も足さばきや体幹が重要であり、「気・剣・体」を一致させ、残心がないと有効打突にならないということが共通していたため、非常に理解しやすく、同じ武道の精神で行われていると感じた。

●成果と課題

- 剣道と銃剣道の礼儀作法は多少の違いはあるけれど、両方を学習することで相手を敬う気持ちが非常に重要だということを、さらに実感することができた。
- 実際に模範試合を観戦することで、映像とは違った臨場感や迫力を体験することができた。また、選手が礼儀作法を行う美しい所作や審判が瞬時に判定する判断力等にも銃剣道の魅力を感じることができた。
- ペアやグループ活動を通して、友達と協力し合い共に成長することが大切であるということを学ぶことができた。
- 生徒たちは外部指導者の方々との触れ合いを通して、現役やOBの自衛官の方が武術としてトレーニングされているだけでなく、銃剣道の楽しさを多くの方々に普及するために活動されていることを知り、初めて見聞きする世界に大きな影響を受け、人の信念の強さや生き方を学ぶことができた。
- 講師の方々に他方から来ていただき、銃剣道に関する専門的知識だけでなく、現在の銃剣道の現状や活動について話を聞くことができ、銃剣道の伝統や魅力の普及活動をされている方々の熱意を感じ、教員としても心を揺さぶられる素晴らしい経験となった。